

東北公益文科大学(全学) ディプロマ・ポリシー

東北公益文科大学学士課程では、「尊重し調和へ」の理念に基づき、「公益」の視点から多様な人々と協働し、持続可能な社会の発展に貢献する人材を育成します。

この目標の達成のため、本学では教育課程を通じて、卒業に必要な単位を修得し、所属する学部が定める卒業要件を満たし、次の学修成果が確認できたものに学士の学位を授与します。

DP1 知識・理解

幅広い知識と専門分野における基本的な知識を身につけ、それらを活用して、社会の諸問題を多角的な視点からとらえることができる。

DP2 コミュニケーション力・発信力

相手の考えや情報を正確に理解し、自分の考えや情報を正確に伝え、相互理解に基づいた交流を行うことができる。

DP3 国際感覚

自国の歴史と文化を理解し、世界の動向に積極的に関心を持ち、多様な文化を持つ人々とコミュニケーションをするための知識とスキルを備えている。

DP4 創造力・企画力

既存の情報や知識を収集・分析し、現状の課題を明確化し、解決のためのアイデアを提案した上で、それを実現するための計画を立案することができる。

DP5 リーダーシップ

多様な価値観を持つメンバーの個性や多様な意見を尊重し、共通の目標に向かって、自ら考え、互いに協力し、責任をもって行動することができる。

【公益学部】人材育成像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

◎公益学部 養成する人材像

公益学部公益学科では、世界と地域の変化を見据え、精神的な豊かさを享受でき、かつ経済的にも持続可能な地域社会をデザインするために、必要な知識とスキルを身につけ、かつ多様な人々とともに課題解決に取り組むことができる実行力を持った人材を育成します。

◎公益学部 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

公益学部では、学修活動を通じて下記の力を身につけた者に、学則に則り学士(公益学)の学位を授与します。

DP1 課題を見つける力

社会や地域の課題に対し問題意識を持ち、科学的な知識を応用して具体的な課題を見出すことができる。「科学的思考力」と「当事者意識」の観点で評価する。

DP2 探究に必要な知識

多様な価値観を理解し、長期的かつ幅広い視点に立って考えることができる知識を有している。「多文化理解に必要な知識」と「持続可能な社会づくりに必要な知識」の観点で評価する。

DP3 課題を分析する力

信頼性が高い情報を適切に収集し、数量的に把握するなど検証可能な形で課題を分析することができる。「情報収集力」と「数量的思考力」の観点で評価する。

DP4 課題解決策を考える力

課題の背景を科学的に分析して検証可能な仮説を立て、それを客観的な方法で検証して課題解決策を提案することができる。「仮説形成力」と「仮説検証力」の観点で評価する。

DP5 課題解決策を実行する力

多様な意見をまとめ、スケジュールを立てて PDCA サイクルを回しながら課題解決に取り組むことができる。「合意形成力」と「マネジメント力」の観点で評価する。

◎公益学部 カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)

○基礎教育科目・リメディアル科目

・「スタディー導入科目」

「DP1 課題を見つける力」の「科学的思考力」と「当事者意識」、及び「DP3 課題を分析する力」の「情報収集力」を養うため、「基礎演習」「探究演習」「現代公益論」「山形地域論」の4科目8単位を必修とします。

・「リテラシー科目」

「DP1 課題を見つける力」の「科学的思考力」と「当事者意識」、「DP2 探究に必要な知識」の「多文化理解に必要な知識」、及び「DP3 課題を分析する力」の「情報収集力」と「数量的思考力」を養うため、「外国語科目」「情報科目」各8単位を必修とするほか、「キャリア科目」に必修4単位を配置します。

・「共通科目」

「DP1 課題を見つける力」の「科学的思考力」、「DP2 探究に必要な知識」の「多文化理解に必要な知識」と「持続可能な社会づくりに必要な知識」、及び「DP3 課題を分析する力」の「数量的思考力」を養うため、「人文科学系」「社会科学系」「STEAM 導入科目」「SDGs 導入科目」の4つの科目区分を設け、所定の基準に従って一定以上の単位を修得することを卒業要件とします。

・「リメディアル科目」

多様な学生を受け入れたうえで、入学前学習と連携しつつ、国語力と数学力が一定の水準に達しない学生に、それぞれ「国語基礎」「数学基礎」の修得を義務付けます。

○専門教育科目・発展教育科目

・「専門基礎科目」「発展教育科目」

「DP1 課題を見つける力」の「科学的思考力」、「DP2 探究に必要な知識」の「多文化理解に必要な知識」と「持続可能な社会づくりに必要な知識」、「DP3 課題を分析する力」の「数量的思考力」、及び「DP4 課題解決策を考える力」の「仮説形成力」を養うため、各コースの専門分野から所定の基準に従って一定以上の単位を修得することを卒業要件とします。また、「発展教育科目」に「社会福祉士養成課程」「キャリア発展科目」「外国語発展科目」の科目区分を設け、修得した単位を一定の範囲で卒業単位に含めます。

・「応用演習科目」

「DP1 課題を見つける力」の「当事者意識」、「DP4 課題解決策を考える力」の「仮説形成力」と「仮説検証力」、及び「DP5 課題解決策を実行する力」の「合意形成力」と「マネジメント力」を養うため、4単位以上修得することを卒業要件とします。

・「専門演習」

「DP1 課題を見つける力」の「当事者意識」、「DP4 課題解決策を考える力」の「仮説形成力」と「仮説検証力」を養うため、8単位を修得することを卒業要件とします。

○「データサイエンス・AI 教育プログラム」

・「DP3 課題を分析する力」の「数量的思考力」を養うため、「基礎教育科目」と「専門教育科目」のうち所定の科目の単位を修得します。

授業

◎ セメスター(2学期制)とクォーター(4学期制)

・セメスター:1年間を「春学期」と「秋学期」の2つのセメスターに分け、各セメスター14週(集中講義を除く)で1科目を修了し、単位を修得します(試験を実施しない科目は13週で1科目修了となります)。

(1)春学期:4月1日~9月30日、(2)秋学期:10月1日(9月中に授業開始の場合あり)~翌年3月31日

・クォーター:各セメスターをさらに2分割(春学期→S1・S2クォーター、秋学期→A1・A2クォーター)し、7週で1科目を修了し単位を修得します。講義を集中的に受講することで、春学期後半(S2クォーター)と夏季休業期間を利用して、長期のインターンシップや海外への中期留学に参加することが可能となります。

◎ 授業時間

授業は1時限を105分とし、月曜日から土曜日の間で、第1時限から第5時限まで行います。

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
8:45~10:30	10:40~12:25	13:10~14:55	15:05~16:50	17:00~18:45

◎ 集中講義

各セメスターに開講される科目のうち、一部の科目については、一定の期間に集中して授業を行う場合があります。その場合、授業は1科目につき、1日2~5時限連続して数日にわたり行われます。

◎ 休講・補講

教員のやむを得ない事情等で授業が休講になることがあります。その場合は、あらかじめ掲示板等を通じてお知らせします。また、事前に休講のお知らせができない場合で、授業の開始時刻から30分経過しても授業が行われない時も休講といたします。

なお、休講があった場合は、原則として、これを補うために時間割の空き時間や補講日などを利用して補講を実施します。補講の日程等の詳細は掲示板等を通じてお知らせします。

◎ 欠席

次の場合は、学生からの申し出により、教務学生課で科目担当教員に通知する書類を発行します。該当しない場合は、各自で速やかに科目担当教員に申し出てください。欠席した回の授業内容は、科目担当教員の指示に従って自習してください。

(1) 病気・怪我による欠席

医師の診断書またはそれに代わるものを持参して、教務学生課で手続きしてください。

ただし、授業を4回以上欠席する場合は、科目担当教員の判断に委ねられます。

(2) 3親等以内の忌引きによる欠席(往復に要する日数は、別途考慮する。)

・配偶者及び1親等は、7日以内 教務学生課で手続きしてください。

・2親等は、3日以内 教務学生課で手続きしてください。

・3親等は、1日以内 教務学生課で手続きしてください。

(3) 教職課程履修に係る教育実習、介護等体験期間中の欠席

教務学生課で発行する欠席の「期間証明書」を事前に担当教員へ提出してください。

(4) 社会福祉士課程履修に係る福祉施設実習期間中の欠席

教務学生課で発行する欠席の「期間証明書」を事前に担当教員へ提出してください。

(5) 「社会実習(インターンシップ)」履修に係る実習期間中の欠席

教務学生課で発行する欠席の「期間証明書」を事前に担当教員へ提出してください。

(6) その他やむを得ない事由

欠席理由を証明する書類を事由の発生後速やかに教務学生課に提出してください。

「やむを得ない」と認められるかどうかは、大学で個別に判断します。

◎ オフィスアワー

すべての教員は、「オフィスアワー」という学生のための時間帯を設けています。この時間帯には、教員は個人研究室で学生の質問や個人的な指導、相談にあたることになっています。その教員の授業を取っているか

どうかにかかわらず、気軽に研究室を訪れて、個人的な指導を受けたり相談をしたりしてください。

時間帯は、専任教員については掲示板を見るか直接問い合わせてください。専任教員のメールアドレスは東北公益文科大学ホームページ(<https://www.koeki-u.ac.jp/>)の「教員紹介」の各教員のページで確認してください。非常勤講師は担当授業終了後10分程度、教室または講師控室で対応します(オンライン・オンデマンド授業で教室にいない場合は、メールアドレスで質問を受け付けてもらいます)。

単位

単位とは、学修時間を表す名称で、個々の授業科目について所定の時間を履修し、試験等により合格と判定されたときに与えられます。1単位あたりの学修時間には、法令上、授業外学修の時間も含まれていますので、各科目のシラバスに従って、予習・復習を行うことが必要です。

単位数は授業科目ごとに定められ、一定の単位数の修得をもって卒業の要件としています。

単位の計算方法については次のとおりです。

(1)講義及び演習については、15時間の講義または演習をもって1単位とします。

(2)実習については、30時間の実習をもって1単位とします。

履修の仕方

◎ 授業科目の区分・必修科目・選択科目

授業科目は、いくつかの区分に分かれていて、それぞれの区分で修得しなければならない単位数が定められています。

また、卒業要件として必ず修得しなければならない科目を「必修科目」、一定の科目群の中から所定の科目を履修しなければならない科目を「選択必修科目」、各自の興味や目的に従い自由に選び、履修することができる科目を「選択科目」といいます。

◎ 履修年次

各科目には、その科目を履修することができる学年(履修年次)が定められていますので、カリキュラム表で確認してください。

◎ 履修単位数の目安

履修単位数はセメスターあたり20単位(1年間で40単位)を目安に設定し、「カリキュラムツリー」と「履修モデル」を参考に、3年次終了時点で「卒業見込証明書」の発行条件(履修ガイド p.10参照)を満たすことができるよう、計画的に履修してください。

◎ 再履修

修得できなかった科目については、次期セメスター以降に再度履修して単位を修得してください。また、必修科目が不合格になった場合は、時間割の構造上、次の学年での履修に制約が生じる場合があり、希望する科目が履修できなくなることがありますので、十分注意してください。

◎ 修得済科目

一度単位を修得した科目を再度履修することはできません。

◎ シラバス

シラバスとは、各科目の概要、授業計画、成績評価の方法などについて詳しく記したものです。教務システム「SIP」でそれぞれの科目のシラバスを検索して確認の上、よく読んでから履修登録を行ってください。

教務システム「SIP」 <https://sip.koeki-u.ac.jp/uprx/>

◎ スキルの獲得

本学では、在学中に皆さんに身につけてほしいスキルとして「課題を見つける力」「探究に必要な知識」「課

題を分析する力」「課題解決策を考える力」「課題解決策を実行する力」の 5 つを定めています。さらに、これらの能力を構成する要素を分解し、合計で 10 項目のスキルを設定しています。各科目のシラバスの上部には「育成するスキル」を表示しており、その授業を受ける中で獲得することができるスキルを○印で示しています。いずれも在学中や社会に出た後でも必要とされる能力になりますので、授業の履修計画を考える際は履修モデル、カリキュラムツリー、皆さんの興味関心に加えて、各スキルを身につけることも念頭におくと良いでしょう。

履修登録

各学期(セメスター)の開始前に、履修したい科目を登録します。S1・S2クォーターの科目は春学期開始前に、A1・A2クォーターの科目は秋学期開始前に履修登録を行います。夏季・春季集中講義(それぞれS2クォーター・A2クォーター科目に該当)も各学期開始前に履修登録が必要です。履修登録をせずに授業に出席して試験を受けても単位は認められません。詳細は各学期のガイダンスで説明します。

◎ 履修登録上の注意(履修条件等)

科目を登録するにあたり、科目によってはいくつかの履修条件があります。条件については次のとおりです。

- (1) 科目名の語尾にローマ数字(I～Ⅷ)が付いている科目は、選択必修の外国語科目を除き、Iから順番に履修・修得すること。Iを単位修得していない場合、IIは単位修得できません。
- (2) 算用数字の1～4が付いている科目は、1から順番に履修・修得すること。
- (3) 履修条件(指定の前提科目を修得していないと履修できない等)を設けている科目もあるため、シラバスを十分に確認した上で、履修登録を行うこと。

その他、再履修等により時間割上科目が重複する場合や、やむを得ない理由で期間内に登録できない場合は、あらかじめ教務学生課に相談してください。

◎ 履修登録の上限

法令に基づき、履修登録できる上限単位数を定めるキャップ(CAP)制を実施しています(編入生を除く)。1セメスターあたり20単位を基準とし、直前セメスターのGPAにより最大24単位まで登録できます。ただし、キャップ制の対象外となる科目もあり、対象外の科目は履修登録上限単位数に含まれません。

2026・2025年度入学生対象外科目:

社会実習(インターンシップ)、発展教育科目のうち社会福祉士養成課程の科目、外国語発展科目のうち発展英語と留学外国語の科目、卒業単位外の科目(教職課程独自の科目)

2024～2021年度入学生対象外科目:

インターンシップ、発展教育科目、卒業単位外の科目(教職課程独自の科目)

履修登録の上限単位数(基準値)は、直前セメスターのGPA(「成績」の欄を参照)に応じて異なります。

【直前セメスターのGPAと上限単位数】

直前セメスターのGPA	履修登録上限単位数
3.0以上	24
1.5以上～3.0未満	22
1.5未満	20

◎ 履修登録時期・方法など

履修登録期間は、学年暦で確認してください。学年暦は掲示するほか、ガイダンスで配付および大学からのメール等で公開します。履修登録は、本学教務システム:SIP(<https://sip.koeki-u.ac.jp/uprx/>)より履修登録期間内に必ず正しく手続きしてください。

◎ 履修登録の訂正

履修登録期間終了後の登録内容の修正は原則認めません。履修登録の内容は、教務システム「SIP」にて各自で確認してください。やむを得ず訂正の必要がある場合は、「履修登録訂正期間」中に限り、訂正が可能です。履修登録訂正期間終了後は履修登録の追加は一切できませんので注意してください。

◎ 履修登録取消制度

履修登録取消制度は、一旦履修登録した科目を取り消す制度で、履修登録をして授業に出たものの、以下のような理由から履修を取り消すことができます。ただし、必修科目、選択必修科目の取り消しはできません。履修登録取消期間は、学年暦にて確認してください。

- (1) 授業の内容が自分の勉強したい内容と違っていた
- (2) 授業についていけるだけの知識が不足していることに気付いた
- (3) 健康上等の理由で履修科目を減らしたい

なお、履修登録取消期間後の科目の取り消しは一切認めません。期間中に届出がなく、自ら履修を放棄した場合は、「不可」(GP=0)としてGPAが算出されるので、十分注意してください。

試験

試験は原則としてその科目が開講された Semester またはクォーターの最終授業時間に「定期試験」として行いますが、科目によっては定期試験とは別に何回か試験やレポート提出が行われ、それらを総合して成績が評価されるものもあります。また、レポート等が試験に代わる科目もあります。詳しくはシラバスで確認の上、担当教員の指示に従ってください。

なお、定期試験の注意事項については次のとおりです。

- (1) 定期試験受験の際は、学生証が必要です。学生証を持参しなかった場合は、各試験の前に、教務学生課で「定期試験受験許可書」の発行を受けてください。
- (2) 試験時間は原則として105分以内です。
- (3) 試験開始から20分以上遅刻した場合は受験できません。
- (4) 試験開始から20分経過した者は、「定期試験受験許可書」の発行を受けるために遅刻した場合であっても、受験することができません。
- (5) 退室は試験開始30分経過後から認めます。ただし、担当教員から指示があればそれを優先します。
- (6) その他、試験中は監督者の指示に従ってください。
- (7) 受験にあたって不正行為があった場合は、学生の懲戒に関する規程により、懲戒処分となります。詳しくは、「東北公益文科大学学生の懲戒に関する規程」を参照してください。

※レポート課題等の提出には、大学が付与しているメールアドレスを使用しましょう。メールや各種システムでの課題提出の際は、「学籍番号」「氏名」「科目名」を必ず明記し、そのほか、担当教員の指示をすべて順守して提出してください。また、課題提出に関してトラブルを避けるため、送信・受信されているかの確認を各自で行ってください。

◎ 受験資格

- (1) 履修登録した科目のみ受験可能です。未登録科目は受験できません(仮に受験しても無効です)。
- (2) 休学または停学中の場合は受験できません。

◎ 定期試験における特別措置

怪我、病気及び精神等の疾患・障がいがある学生は、申請により障害学生支援委員会から許可された場合、定期試験において特別措置を受けることができます。

特別措置を希望する場合は、大学所定の「定期試験における特別措置申請書(様式 1)」と「定期試験特別措置申請科目一覧(様式 2)」を教務学生課に提出してください。

◎ 追試験

次の理由で定期試験を欠席した授業科目については、本人が願い出、認められた場合は追試験を実施します。追試験を希望する場合は、追試験受験願(大学所定のもの)に欠席理由を証明する書類(医師の診断書など)を添付して、教務学生課に提出してください。

- (1) 病気、けが(医師の診断書が必要)

- (2) 忌引(配偶者及び1～3親等に限り、配偶者及び1親等は7日以内、2親等は3日以内、3親等は1日以内(ただし、往復に要する日数は別途考慮する。)
- (3) 就職に関する事由
- (4) その他やむを得ない事由

なお、各項目に該当する事由は次の表のとおりです。

項目	具体的な事由	必要書類・摘要
病欠けが	(i) 本人の病気、けが	・医師の診断書または氏名・通院日明記の「領収書」等。2日以上欠席の場合は治療期間が記載されていること。 ・健康管理室が発行する確認書
忌引	(i) 配偶者及び3親等以内の危篤または死亡(配偶者及び1親等は7日以内、2親等は3日以内、3親等は1日以内)	・医師の診断書、死亡診断書の写しまたは会葬礼状等
就職に関する事由	(i) 採用試験(筆記試験及び面接試験)(教員採用試験、公務員採用試験及び内定先から出席が必須とされた会合を含む)	・企業、官公庁等発行の証明書※(試験日時や会場が明記され、社印等が押印されていること)または受験票等 ※様式は大学で配付します。
	(ii) 大学院等入学試験	・受験票(試験日時や会場の明記がない場合募集要項等)
	(iii) 本学の教育課程の延長上にある資格取得のための試験	・受験票(試験日時や会場の明記がない場合募集要項等)
その他やむを得ない事由	(i) 子、兄弟姉妹の結婚(1日以内)	・招待状等
	(ii) 出産(本人は7日以内、配偶者は1日以内)	・出生証明書の写し
	(iii) 公共交通機関の不通・遅延	・遅延証明書
	(iv) 災害、自宅の火事	・被災証明書の写しまたは被災状況が確認できる書類等
	(v) 大学コンソーシアムやまがたの単位互換制度における試験日の重複	・(大学から求められた場合のみ)試験日時が確認できる書類等
	(vi) 本学の教育課程における資格取得に係る実習(教育実習、介護等体験、社会福祉士国家試験受験資格取得に係る実習)	
	(vii) 本学正課科目「インターンシップ」	
	(viii) 部活動等における「学生の日本代表」又は「全国大会クラス」以上の大会で大学が認めたものへの参加	・出場が確認できる書類等 ※文化系の団体大会等は個別に判断するので、定期試験開始日から起算して45日前までに、教務学生課に相談すること。
	(ix) 裁判員候補者、裁判員または補充裁判員	・裁判所が発行する証明書
	(x) 学部長(または教育推進委員長)が受験を許可した場合	

※ いずれの場合も往復に要する日数は別途考慮する。

※ その他やむを得ない事由に、「骨髄移植、生体臓器移植等に係るドナーとなった場合」を含む。この場合、「医師が発行する証明書」が必要。

※ 科目担当教員の判断で、授業時間中に実施されるテストは学期末試験にはあたらないので、欠席した場合は各担当教員に指示に従うこと。

◎ 再試験

成績不良のため単位の修得ができなかった場合、原則として再試験は行いません。ただし、卒業年次でやむを得ない事情により教育推進委員会が承認する場合には、再試験を行うことがあります。なお、再試験の成績の評価は「良」以下となります。

成績

◎ 成績評価

成績は、「秀」、「優」、「良」、「可」、「不可」で表し、「可」以上を合格とします。成績評価は次の基準により行われます。

◎ GP(グレード・ポイント)

履修した科目の成績評価を数値化したものです。1単位あたり、「秀=4」、「優=3」、「良=2」、「可=1」、「不可=0」に置き換えます。2単位の科目の成績評価が「秀」の場合、その科目のGPは「8」となります。

判定	評価	評点	GP	内 容
合格	秀(S)	90~100	4	特に優秀な成績
	優(A)	80~89	3	すぐれた成績
	良(B)	70~79	2	その科目の要求を満たす成績
	可(C)	60~69	1	合格と認められる最低の成績
不合格	不可(D)	59点以下	0	合格と認められる最低の成績に達していない
GPA対象外	認(認定)	-	-	編入学、単位互換、科目等履修等

◎ GPA(グレード・ポイント・アベレージ)

履修した科目の成績評価を数値化し、1単位あたりの平均点を算出したものです。小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで算出します。GPAは履修登録上限単位数の決定(履修ガイド p.4参照)や奨学金の継続審査等に使用します。

【算出例】

科目名	単位数	評価	GP	GP×単位数
基礎演習	2	A	3	6
心理学	2	C	1	2
政治学	2	D	0	0
社会学	2	B	2	4
物理学	2	S	4	8
英語 1	2	A	3	6
英語 2	2	B	2	4
情報リテラシー	2	S	4	8
基礎簿記 I	2	B	2	4
社会福祉学 a	2	S	4	8
国語基礎(GPA対象外)	0	A	-	-
合計	20	-	-	50

$$GPA = 50(GP \times \text{単位数}) \div 20(\text{単位数}) = 2.5(\text{小数点第2位四捨五入})$$

◎ 成績通知

成績は原則として次セメスター初めにアドバイザー教員から配付します。あわせて、教務システム:SIP で保証人にも公開されます。

◎ 成績評価問い合わせ

成績について、質問や異議がある場合は問い合わせることができます。教務学生課にて手続期間や条件等を確認し手続きをしてください。

◎ 成績不振の場合について

学則第 57 条第 2 号により「病気その他の理由で成業の見込みがない者」は除籍の要件に該当します。成績不振の状態になった場合は、その原因が何かを考え、アドバイザー教員など周りの人の意見を良く聞いて、その状態が長く続かないようにしてください。

進級・卒業・学位

◎ 3年次進級要件

3年次に進級するためには、2年次終了時まで各科目区分に定められた3年次進級に必要な単位を修得しなければなりません。詳細は次の表のとおりです。1年次から2年次、3年次から4年次への進級要件はありません。ただし、学長が特に認めた場合は、この限りではありません。

◎ 卒業要件・学位

卒業するには、4年間以上在学し(休学期間は含まれません)、以下の表に示す卒業要件を満たさなければなりません。

万が一休学した場合は、入学から4年後の卒業はできなくなります。

卒業とともに学士(公益学)の学位が与えられます。

◎ 長期留学する者の進級要件・卒業要件

留学期間を含めて合計4年間で卒業できるようにするため、留学する学生を対象に3年次進級要件の緩和や専門演習の履修方法を変更しています。詳細については「長期留学」「中・長期留学」の欄を参照してください。

◎ 3年次進級要件と卒業要件

【2026・2025 年度入学生】

科目区分		3年次進級要件	卒業要件			
基礎教育科目	スタディー導入科目		・基礎演習 ・探究演習 ・現代公益論 ・選択必修語学 1・2 ・情報リテラシー ・データリテラシー (計14単位)を含む、50単位以上の単位修得	8単位		
	リテラシー科目	外国語科目		同一言語8単位		
		情報科目		4科目8単位		
		キャリア科目		キャリアデザイン a・b 必修		
	共通科目	人文社会系		4 単位以上		合計38 単位以上
		社会科学系		4 単位以上		
		STEAM 導入科目		4 単位以上(選択必修から2単位含む)		
SDGs 導入科目		4 単位以上				
専門教育科目	専門基礎科目	経済・経営コース	所属コースの専門基礎科目から 20 単位以上(同コースの特定のユニットから 8 単位以上を含む)、専門教育科目全体(専門演習を除く)で 36 単位以上	合計 54 単位以上 (発展教育科目と合算して)		
		政策コース				
		地域福祉コース				
		国際教養コース				
		観光・まちづくりコース				
		メディア情報コース				
	応用演習科目	4単位以上				
専門演習	2科目8単位					
発展教育科目	社会福祉士養成課程		合計 54 単位以上(専門教育科目と合算して)			
	キャリア発展科目					
	外国語発展科目	中国語 ロシア語 韓国語 日本語	国際教養コース所属学生は「短期語学留学 1」「実践外国語(期間・大学名)」が選択必修			
		留学外国語				
リメディアル科目		国語基礎および数学基礎 修得が義務				
合計		50単位以上	124単位以上			

【2024・2023・2022・2021 年度入学生】

科目区分		3年次進級要件	卒業要件		
基礎教育科目	スタディー導入科目		8単位		
	リテラシー科目	外国語科目	8科目8単位以上(但し同一言語)		
		情報科目	4科目8単位		
		キャリア科目	2024 年度入学生のみ 「キャリアデザイン a」、「キャリアデザインb」 (各 2 単位、合計 4 単位)必修	合計30単位以上	
	共通科目	人文社会系	2023 年度以前入学生 「キャリア入門a,b」、「キャリアと人生a,b」 (各 1 単位、合計 4 単位)必修		
		STEAM 系	6単位以上		
		SDGs 導入科目	4単位以上(選択必修から2単位含む)		
	専門教育科目	共通専門科目	・基礎演習a, b ・現代公益論 I, II ・選択必修語学 I ~ IV ・情報リテラシー ・データリテラシー (計14単位)を含む 50単位以上の単位 修得	2単位以上	合計62単位以上 (発展教育科目と合算して)
		経営コース		6単位以上(選択必修から1単位含む)	
		政策コース		所属コースから30単位以上 (共通専門科目から最大6単位まで算入可能)	
地域福祉コース		国際教養コース所属学生は選択した言語の 語学科目は全て必修			
国際教養コース		4単位以上			
観光・まちづくりコース		2科目8単位			
メディア情報コース		合計62単位以上(専門教育科目と合算して)			
応用演習科目		国際教養コース所属学生は「短期語学留学 1」「実践外国語(期間・大学名)」が選択必修			
専門演習		国語基礎および数学基礎			
発展教育科目	社会福祉士養成課程	リメディアル科目	合計62単位以上(専門教育科目と合算して)		
	外国語		ロシア語 日本語	国際教養コース所属学生は「短期語学留学 1」「実践外国語(期間・大学名)」が選択必修	
	発展科目		留学外国語	国語基礎および数学基礎	
合計		50単位以上	124単位以上		

資格取得による単位認定

◎ 単位認定する資格の種類

- ・TOEIC 550~649 ⇒ 2025 年度以降入学生:「Active Listening and Reading(中級)」の単位を認定
2024 年度以前入学生:「TOEIC(中級)」の単位を認定
- ・TOEIC 650~ ⇒ 2025 年度以降入学生:「Active Listening and Reading(中級)」「Active Listening and Reading(上級)」の単位を認定
2024 年度以前入学生:「TOEIC(中級)」「TOEIC(上級)」の単位を認定
- ・TOEIC 700~ ⇒ 2025 年度以降入学生:「Active Listening and Reading(中級)」「Active Listening and Reading(上級)」「Intensive Listening and Reading」の単位を認定
2024 年度以前入学生:「TOEIC(中級)」「TOEIC(上級)」「Intensive TOEIC」の単位を認定
- ・ITパスポート ⇒ 「計算機基礎理論」「コンピュータシステム論」の単位を認定
- ・基本情報技術者 ⇒ 「計算機基礎理論」「コンピュータシステム論」「システム開発技術論」「企業活動と情報システム」「応用プログラミング」「データ構造とアルゴリズム」の単位を認定
- ・日商簿記2級以上 ⇒ 「基礎簿記 I」「基礎簿記 II」の単位を認定

◎ 認定の方法

上記の資格を入学前または本学在学期間中に取得した学生は、各セメスターの履修登録期間中に、取得した資格認定証の原本を添えて教務学生課に「単位認定申請書」を提出してください。教授会の承認を得た上で、単位を認定します。この場合は当該期の成績評価の授業科目の評価欄に「認」と表記されます。ただし、該当する科目の単位を既に修得済みの場合は認定されません。

◎ 国際教養コース選択必修科目について(2025年度以前入学生対象)

国際教養コースに所属する学生は、「短期語学留学 1」「実践外国語(期間・大学名)」を選択必修科目としますが、以下の要件を満たす学生については申請により選択必修を免除し、通常を選択科目とします。
英語: TOEIC Listening & Reading Test 590、TOEFL ITP/TOEFL PBT 500、TOEFL CBT 173、TOEFL iBT 61以上
中国語: 中国語検定試験 3級合格者

各種証明書の発行条件

◎ 卒業見込証明書

以下の条件を満たしている場合に発行できます。

- (1) 3年以上在学していること。
- (2) 修得単位数が100単位以上(卒業に必要な単位)であること。
- (3) 「専門演習Ⅰ」の単位を修得していること。(または、専門演習(留学)Ⅰa,bのいずれかの単位を修得しているか、専門演習(留学)Ⅰcを履修中であること。)
- (4) 「国語基礎」「数学基礎」を修得していること。

◎ 社会福祉主事任用資格

以下の科目より3科目以上修得し卒業した場合に発行できます。()内に記載がある科目は、2020年度以前入学生の対象科目です。

社会福祉学a及びb 社会保障論a及びb(社会保障論Ⅰ及びⅡ)(福祉行財政と福祉計画Ⅰ及びⅡ)
公的扶助論 障害者福祉論 高齢者福祉論 児童・家庭福祉論(児童福祉論) 社会学 心理学
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ及びⅡ(地域福祉論a及びb) 社会福祉調査 医学一般
ソーシャルワークの基盤と専門職a及びb(ソーシャルワーク総論a及びb) 倫理学 社会政策a及びb
教育学 経済学 法学 民法Ⅰ及びⅡ 行政法

◎ 児童福祉司任用資格

社会福祉士の資格を取得後、地方公務員として児童相談所に配属された場合に発行できます。

◎ 児童指導員任用資格

以下のいずれかの資格を取得し卒業した場合に発行できます。

- ・中学校1種(社会)、高等学校1種(公民)または高等学校1種(地理歴史)の教員免許を取得した者
- ・社会福祉士国家試験受験資格を修得した者

教職課程

教職課程の履修の仕方については、教職課程ガイダンスで別途配付するガイド等を参照してください。わからないことがあったら、教職担当教員または教務学生課教職担当にその都度確認してください。

社会福祉士養成課程プログラム(発展教育科目)

地域福祉コースに設定されている所定の科目とあわせて履修することで、社会福祉士の国家試験受験資格の取得を目指すプログラムです。受験資格を得るためには、本プログラムに設定されている科目の単位のみならず、地域福祉コースに設定されている多くの科目の単位の修得が必要となります。このため、所属するコースによっては卒業単位を大幅に超えた単位修得が求められることとなりますので、計画的な履修を心掛けてください。社会福祉士養成課程の履修の仕方については、各セメスターのはじめに行うガイダンスに出席して確認してください。また、地域福祉コースの教員にその都度聞いてください。

中・長期留学

学生が個人で所定の手続きにより外国の大学または短期大学(以下「大学等」という。)に留学し、留学先大学等における学修を本学の単位として認定するものです。詳しくは教務学生課にお問い合わせください。

(1) 留学の形態

- ① 交換留学:本学が交換留学協定を締結している外国の大学等への留学
- ② 派遣留学:本学が派遣留学協定を締結している外国の大学等への留学
- ③ 認定留学:上記以外で本学が留学先として認定した外国の大学等への留学

(2) 留学期間

留学により他の科目を履修することができない期間が1 Semester(6ヶ月)又は2 Semester(1年間)にわたる留学を長期留学、1ヶ月以上1クォーター以内の留学を中期留学とします。特別な理由がある場合には、延長申請が認められることを条件に、1回に限り、1ヶ月から最大で1年まで延長ができます。

なお、4年間で卒業するためには、留学により他の科目の履修ができない期間を、できる限り短くする必要があります。したがって、4ヶ月以内の留学の場合は、長期休業期間中に開始(S1・A1クォーターの場合)又は終了(S2・A2クォーターの場合)させるなど、長期休業期間と組み合わせて、他の科目が履修できない期間が1クォーター以内(中期留学)に収まるよう努めてください。

(3) 認定留学申請手続き

留学受け入れ先大学等からの入学許可証等を添えて、留学願を留学開始の2ヶ月前までに、教務学生課に提出してください。条件が満たされている場合に留学を許可いたします。

(4) 留学として認定するための必要条件

- ① 本学に1年間以上在学した者
- ② 留学願提出に先立ち、留学先大学等認定申請の手続きを定められた期間内に行っていること
- ③ 留学の目的が留学先大学等での語学研修または単位の取得であること

(5) 本学での単位の認定

留学期間中に修得した単位の内、本学のカリキュラムに読替可能な科目がある場合は、本学の科目の単位を取得したものとして認定を行います。読替科目が無い場合や語学研修プログラム等を修了した場合は以下の科目の単位として認定します。

- ① 留学期間中に修得すべき外国語の選択必修科目(留学先で使用する言語と同一語種の場合に限る)
- ② 発展教育科目にある「実践外国語」

この際の単位数は学修時間に応じて定めるものとします。なお、成績評価はいずれも「認」となります。留学に伴う単位認定の上限は30単位とします。

(6) 留学の奨励

留学期間は最大で1年間まで在学期間に算入されます。留学期間を含めて合計4年間で卒業できるようにするため、長期留学をする学生を対象に3年次進級要件の緩和や専門演習の履修方法を変更しています。

- ① 2年次に留学する場合、3年次進級要件が緩和(留学期間により緩和される内容が異なる)されます。
- ② 3年次春学期から4年次春学期の間に留学する場合、通年科目である「専門演習(一般)」ではなく、半期科目である「専門演習(留学)」を履修します。

【留学する学生の3年次進級要件】

- 2年次に1年間留学:合計単位数を40単位以上とする
- 2年次に半年間留学:緩和なし
- 留学先から修了証が発行されない場合は、進級要件の緩和は行わない

【2026・2025 年度入学生】

科目区分		通常又は 2 年次に半期留学	2 年次に 1 年間留学
基礎 教育 科目	スタディー導入科目	6 単位以上 (対象:基礎演習、探究演習、現代公益論)	
	リテラシー科目	外国語科目	4 単位以上 (英語(中国語)1~4)
		情報科目	4 単位以上 (情報リテラシー・データリテラシー)
科目の分野を問わず		36 単位以上	26 単位以上
合計		50 単位以上	40 単位以上

【2024・2023・2022・2021 年度入学生】

科目区分		通常又は 2 年次に半期留学	2 年次に 1 年間留学
基礎 教育 科目	スタディー導入科目	6 単位以上 (対象:基礎演習 a、基礎演習 b、現代公益論 I、現代公益論 II)	
	リテラシー科目	外国語科目	4 単位以上 (英語(中国語) I ~IV)
		情報科目	4 単位以上 (情報リテラシー・データリテラシー)
科目の分野を問わず		36 単位以上	26 単位以上
合計		50 単位以上	40 単位以上

【専門演習(留学)】

区分	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	履修	卒業単位
専門 演習	一般	専門演習 I		専門演習 II	必修	8単位
	留学			専門演習(留学) II		2単位
			専門演習(留学) I a	専門演習(留学) I b	専門演習(留学) I c	選択 必修

専門演習(留学)Ia、Ib、Ic、IIのうち、専門演習(留学)IIは必修です。

専門演習 Ia、Ib、Ic は選択必修とし、留学期間に応じて1科目2単位、または2科目4単位を修得します。

専門演習 Ia、Ib、Ic のうち、留学のために履修出来ない科目については、専門演習担当教員がメール等での教育指導を行います。なお、専門演習の一部の単位を修得しないことにより卒業に不足する単位については、専門科目または発展教育科目から修得します。

ただし、進級要件の緩和や専門演習(留学)の履修を行うには、次の条件を満たしている必要があります。

- ① 留学が2年次春学期から4年次春学期の間に行われていること
- ② 留学期間が通算で2セメスター以内であること
- ③ 留学先大学等での学修により留学後に本学で1単位以上の単位認定が行われること

□公益学部 カリキュラム(2026年度入学生) ※ゴシックは「データサイエンス・AI教育プログラム」の必修科目(選択必修を含む)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要単位	備考[卒業要件等]	
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター				
基礎教育科目	リテラシー科目	スタンダード導入科目	●基礎演習[2] ●現代公益論[2]	●探究演習[2] ●山形地域論[2]							必修	8	<3年次進級要件> ・「基礎演習」「探究演習」「現代公益論」計6単位 ・必修語学第1セメスター開講4単位 ・情報リテラシー2単位 ・データリテラシー2単位 を含む50単位以上の単位修得	
		外国語科目	○英語1・2/ EAP1・2/中国語1・2[各2]	○英語3・4/EAP3・4/中国語3・4[各2]							選択必修	8		同一言語8単位必修
		情報科目	●情報リテラシー[2]	●データリテラシー[2]	●基礎プログラミング I [2]	●基礎プログラミング II [2]					必修	8		
		キャリア科目	●キャリアデザインa[2]			●キャリアデザインb[2]			(就職力強化セミナー) 企業研究セミナー[1]		必修/選択			共通科目と合わせて38単位以上
	共通科目	人文科学系	哲学[2] 倫理学[2] 文学概論[2] 心理学[2] 教育学[2] 日本史a[2] 日本史b[2] 西洋史a[2] 西洋史b[2] 人文地理学a[2] 日本地誌[2] 世界地誌[2]										38以上	人文科学系、社会科学系、STEAM導入科目(選択必修2単位以上含む)、SDGs導入科目から各4単位以上、計16単位以上
社会科学系	基)法学[2] 政治学[2] 基礎簿記 I [2] 基礎簿記 II [2] 経営学基礎[2] 特別支援教育[2] 社会学[2] 社会福祉学a[2] 社会福祉学b[2] ソーシャルワークの基盤と専門職a[2] ソーシャルワークの基盤と専門職b[2] 環境社会学[2] 中)政策入門[2] ミクロ経済学[2] マクロ経済学[2] 会計学[2]													
STEAM導入科目	英国庭園文化論[2] 経済学[2] 自然地理学a[2] 自然地理学b[2] 数学a[1] 数学b[1] 物理学[2] 天文学a[1] 天文学b[1] 統計学a[1] 統計学b[1] 医学一般[2] 実用数学[1] 環境マネジメント論[1] 問題解決の思考法[1] 情報発信・ファシリテーションの技法[1] 社会調査論a[1] 社会調査論b[1] ○日経講座:デジタル社会論[2] ○セキュリティ論[1] ○AIと社会[1](○から2単位選択必修)													
SDGs導入科目	生涯学習論[2] ジェンダー論[2] 貧困と福祉[2] 都市と交通[2] 食糧とエネルギー[2] 水と大気[2] 海ごみ問題と循環型社会デザイン[2]													
専門教育科目	専門基礎科目	経済・経営コース	経済学ユニット: 上)経済学特論a[2] 経済学特論b[2] ゲーム理論[2] 組織の経済学(契約理論)[2] 金融論[2]										発展教育科目と合算して54以上	所属コースの専門基礎科目から20単位以上(同コースの特定のユニットから8単位以上を含む)、専門教育科目全体(専門演習を除く)で36単位以上 ※ダブルメジャー認定要件 3年次修了までに、所属コースから20単位以上(同コースの特定のユニットから8単位以上を含む)と、所属コース以外の特定のコースから20単位以上(同コースの特定のユニットから8単位以上を含む)を修得し、かつ4年次に所定の科目(修得した複数の専門性を「融合・統合」する科目)を修得すること
			経営学ユニット: 中)経営管理論[2] 経営戦略論[2] マーケティング論[2] 現代メディア論[2] 経営工学ab[1×2] 上)企業法務[2]											
			会計学ユニット: 中)財務諸表論[2] 管理会計[2] 監査論[2] 上)企業財務分析[2] 非営利組織会計[2] ライフサイクルアセスメント論ab[1×2]											
			心理学ユニット: 中)企業組織の心理学[2] 社会心理学[2] ヒューマンエラー防止の心理学[2] 上)職場のメンタルヘルス[2] 交通心理学[2]											
	政策コース	法学ユニット: 中)憲法[2] 行政法[2] 民法 I [2] 統治機構論[2] 上)民法 II [2] 国際法[2] 国際海洋法[2]												
		政治行政ユニット: 中)行政学[2] 地方自治論[2] 日本政治論 I [2] 上)公共経営論[2] 日本政治論 II [2]												
		公共政策ユニット: 中)社会保障論a[2] 社会保障論b[2] 公共経済学[2] 上)地方財政論[2] 公的年金論[2]												
	地域福祉コース	福祉政策ユニット: 社会政策ab[1×2] 児童・家庭福祉論[2] 障害者福祉論[2] 高齢者福祉論[2] 公的扶助論[2] 医療福祉論[2]												
		地域福祉ユニット: 地域福祉と包括的支援体制 I [2] 地域福祉と包括的支援体制 II [2] 福祉経営論[2] 権利擁護と成年後見[2] 刑事司法と福祉[2]												
		ソーシャルワークユニット: ソーシャルワークの理論と方法abcd[2×4] 精神保健学[2]												
観光・まちづくりコース	社会・空間ユニット: 中)人文地理学b[2] 風景のデザインab[1×2] サブカルチャー論[2] 余暇と観光の社会学[2]													
	まちづくりユニット: 中)中心市街地の再生[2] 中山間・離島地域論[2] 自然環境の保全と共生[2] 第六次産業論[2] 社会起業家論ab[1×2] 観光・まちづくり演習a[2] 観光・まちづくり演習b[2]													
	観光ユニット: 中)国際観光論[2] 観光政策論ab[1×2] 地域・観光資源論[2] 民俗学と観光ab[1×2] グリーンツーリズム論[2]													
メディア情報コース	データサイエンスユニット: 中)データサイエンス入門ab[1×2] データ分析手法ab[1×2] 情報数学ab[1×2] 上)データベース論[1] データベース演習[1] 統計モデリングab[1×2]													
	AI・機械学習ユニット: 中)応用数学ab[1×2] 機械学習入門ab[1×2] 機械学習理論ab[1×2] 上)応用数学cd[1×2] 機械学習理論cd[1×2]													
	ソフトウェアユニット: 中)Unix演習ab[1×2] ゲームデザインab[1×2] 計算機基礎理論[1] コンピュータシステム論[1] システム開発技術論[1] 上)インターネット論[1] インターネット演習[1] 応用プログラミング[1] データ構造とアルゴリズム[1]													
	Society5.0ユニット: 中)情報デザイン論ab[1×2] マルチメディア論[1] 地理情報基礎演習[1] 画像情報処理[1] 企業活動と情報システム[1] 上)数値情報処理ab[1×2] 情報システムabcd[1×4]													
応用演習科目	基)社会実習(インターンシップ)1[2] 社会実習(インターンシップ)2[2] 社会実習(インターンシップ)3[2] 社会実習(インターンシップ)4[2]										選択必修	4単位選択必修		
	中)プロジェクト型応用演習1[2] プロジェクト型応用演習2[2] 中)超学際演習1[2] 超学際演習2[2] サービス・ラーニング[*] 課題解決実践演習[*] 中)海外インターンシップ[*] 国際ボランティア[*]													
専門演習	一般											必修	8	
	留学											選択必修	(2か4)	必要単位数は留学期間に応じて定める
発展教育科目	社会福祉士養成課程【同課程履修者のみ】	中)社会福祉調査[2] ソーシャルワーク演習 I [2] ソーシャルワーク演習 II [2] ソーシャルワーク演習 III [2] ソーシャルワーク実習指導 I [1] ソーシャルワーク実習指導 II [1] 上)ソーシャルワーク演習 IV [2] ソーシャルワーク演習 V [2] ソーシャルワーク実習指導 III [1] ソーシャルワーク実習 I [2] ソーシャルワーク実習 II [3] ソーシャルワーク実習 III [3]										選択	除く(専門)と合算して(専門)5門4演習以上	
	キャリア発展科目	アントレプレナーシップ入門[2] アントレプレナーシップ基礎a[2] アントレプレナーシップ基礎b[2] アントレプレナーシップ基礎c[2] アントレプレナーシップ応用a[2] アントレプレナーシップ応用b[2]												
	外国語発展科目	基)中国語初級 I [2] 中国語初級 II [2] 中国語初級 III [2] 中国語初級 IV [2] ロシア語 I [2] ロシア語 II [2] 韓国語 I [2] 韓国語 II [2] 中)ロシア語 III [2] ロシア語 IV [2] 韓国語 IV [2] 中国語中級[2] 中国語会話[2] 中国語リスニング I [2] [留学生のみ] 日本語演習a[2] 日本語演習b[2] 日本語演習c[2] 日本事情[2] 上)中国語リスニング II [2] 中国語講読[2] 中国語作文[2]												
	発展英語	Active Listening and Reading(中級)[2] Active Listening and Reading(上級)[2] Intensive Listening and Reading[2] 英米文学概論[2] 英語文学講読a[2] 英語文学講読b[2]												
	留学外国語	短期語学留学1[*] 短期語学留学2[*] 実践外国語(期間・大学名)[*]												
リメディアル科目【2科目】	●国語基礎 ●数学基礎										卒業単位外	修得が義務		

●必修科目 ○選択必修科目 *:実習時間数等により単位を認定

合計 124

□カリキュラム(2025年度入学生) ※ゴシックは「データサイエンス・AI教育プログラム」の必修科目(選択必修を含む)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要単位	備考[卒業要件等]		
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター					
基礎教育科目	基礎教育科目	スタディー導入科目	●基礎演習[2] ●現代公益論[2]	●探究演習[2] ●山形地域論[2]							必修	8	<3年次進級要件> ・「基礎演習」「探究演習」「現代公益論」計6単位 ・必修語学第1セメスター開講4単位 ・情報リテラシー2単位 ・データリテラシー2単位 を含む50単位以上の単位修得		
		リテラシー科目	○英語1・2/ EAP1・2/ 中国語1・2[各2]	○英語3・4/ EAP3・4/ 中国語3・4[各2]							選択必修	8		同一言語8単位必修	
		情報科目	●情報リテラシー[2]	●データリテラシー[2]	●基礎プログラミング I [2]	●基礎プログラミング II [2]					必修	8			
		キャリア科目	●キャリアデザインa[2]			●キャリアデザインb[2]			(就職力強化セミナー) 企業研究セミナー[1]		必修/選択			共通科目と合わせて38単位以上	
	共通科目	人文科学系	哲学[2] 倫理学[2] 文学概論[2] 心理学[2] 教育学[2] 日本史a[2] 日本史b[2] 西洋史a[2] 西洋史b[2] 人文地理学a[2] 日本地誌[2] 世界地誌[2]										選択	38以上	人文科学系、社会科学系、STEAM導入科目(選択必修2単位以上含む)、SDGs導入科目から各4単位以上、計16単位以上
社会科学系	基)法学[2] 政治学[2] 基礎簿記 I [2] 基礎簿記 II [2] 経営学基礎[2] 特別支援教育[2] 社会学[2] 社会福祉学a[2] 社会福祉学b[2] ソーシャルワークの基盤と専門職a[2] ソーシャルワークの基盤と専門職b[2] 環境社会学[2] 中)政策入門[2] ミクロ経済学[2] マクロ経済学[2] 会計学[2]														
STEAM導入科目	英国庭園文化論[2] 経済学[2] 自然地理学a[2] 自然地理学b[2] 数学a[1] 数学b[1] 物理学[2] 天文学a[1] 天文学b[1] 統計学a[1] 統計学b[1] 医学一般[2] 実用数学[1] 環境マネジメント論[1] 問題解決の思考法[1] 情報発信・ファンリテーションの技法[1] 社会調査論a[1] 社会調査論b[1] ○日経講座: デジタル社会論[2] ○セキュリティ論[1] ○AIと社会[1](○から2単位選択必修)														
SDGs導入科目	生涯学習論[2] ジェンダー論[2] 貧困と福祉[2] 都市と交通[2] 食糧とエネルギー[2] 水と大気[2] 海ごみ問題と循環型社会デザイン[2]														
専門教育科目	専門基礎科目	経済・経営コース	経済学ユニット: 上)経済学特論a[2] 経済学特論b[2] ゲーム理論[2] 組織の経済学(契約理論)[2] 金融論[2]										選択	54以上	所属コースの専門基礎科目から20単位以上(同コースの特定のユニットから8単位以上を含む)、専門教育科目全体(専門演習を除く)で36単位以上 ※「英語ユニット」の科目は国際教養コース所属学生のみ履修可 ※ダブルメジャー認定要件 3年次修了までに、所属コースから20単位以上(同コースの特定のユニットから8単位以上を含む)と、所属コース以外の特定のコースから20単位以上(同コースの特定のユニットから8単位以上を含む)を修得し、かつ4年次に所定の科目(修得した複数の専門性を「融合・統合」する科目)を修得すること
			経営学ユニット: 中)経営管理論[2] 経営戦略論[2] マーケティング論[2] 現代メディア論[2] 経営工学ab[1×2] 上)企業法務[2]												
			会計学ユニット: 中)財務諸表論[2] 管理会計[2] 監査論[2] 上)企業財務分析[2] 非営利組織会計[2] ライフサイクルアセスメント論ab[1×2]												
			心理学ユニット: 中)企業組織の心理学[2] 社会心理学[2] ヒューマンエラー防止の心理学[2] 上)職場のメンタルヘルス[2] 交通心理学[2]												
		政策コース	法学ユニット: 中)憲法[2] 行政法[2] 民法 I [2] 統治機構論[2] 上)民法 II [2] 国際法[2] 国際海洋法[2]												
			政治行政ユニット: 中)行政学[2] 地方自治論[2] 日本政治論 I [2] 上)公共経営論[2] 日本政治論 II [2]												
			公共政策ユニット: 中)社会保障論a[2] 社会保障論b[2] 公共経済学[2] 上)地方財政論[2] 公的年金論[2]												
		地域福祉コース	福祉政策ユニット: 社会政策ab[1×2] 児童・家庭福祉論[2] 障害者福祉論[2] 高齢者福祉論[2] 公的扶助論[2] 医療福祉論[2]												
			地域福祉ユニット: 地域福祉と包括的支援体制 I [2] 地域福祉と包括的支援体制 II [2] 福祉経営論[2] 権利擁護と成年後見[2] 刑事司法と福祉[2]												
		国際教養コース	ソーシャルワークユニット: ソーシャルワークの理論と方法abcd[2×4] 精神保健学[2]												
英語ユニット: 中)Advanced English Communication[2] English Presentation I [2] Intensive Reading I [2] 上)English Presentation II [2] Intensive Reading II [2] Academic Writing[2]															
文化論ユニット: 中)多文化共生論[2] 文化人類学[2] 日本文化論[2] 上)英米文化論a[2] 英米文化論b[2]															
観光・まちづくりコース	国際関係ユニット: 中)国際関係学[2] グローバル社会と経済[2] 上)国際経営論[2] 国際協力・開発論[2] 農業食料論[2]														
	社会・空間ユニット: 中)人文地理学b[2] 風景のデザインab[1×2] サブカルチャー論[2] 余暇と観光の社会学[2]														
	まちづくりユニット: 中)中心市街地の再生[2] 中山間・離島地域論[2] 自然環境の保全と共生[2] 第六次産業論[2] 社会起業家論ab[1×2] 観光・まちづくり演習a[2] 観光・まちづくり演習b[2]														
メディア情報コース	観光ユニット: 中)国際観光論[2] 観光政策論ab[1×2] 地域・観光資源論[2] 民俗学と観光ab[1×2] グリーンツーリズム論[2]														
	データサイエンスユニット: 中)データサイエンス入門ab[1×2] データ分析手法ab[1×2] 情報数学ab[1×2] 上)データベース論[1] データベース演習[1] 統計モデリングab[1×2]														
	AI・機械学習ユニット: 中)応用数学ab[1×2] 機械学習入門ab[1×2] 機械学習理論ab[1×2] 上)応用数学cd[1×2] 機械学習理論cd[1×2]														
応用演習科目	ソフトウェアユニット: 中)Unix演習ab[1×2] ゲームデザインab[1×2] 計算機基礎理論[1] コンピュータシステム論[1] システム開発技術論[1] 上)インターネット論[1] インターネット演習[1] 応用プログラミング[1] データ構造とアルゴリズム[1]										選択必修	4単位選択必修			
	Society5.0ユニット: 中)情報デザイン論ab[1×2] マルチメディア論[1] 地理情報基礎演習[1] 画像情報処理[1] 企業活動と情報システム[1] 上)数値情報処理ab[1×2] 情報システムabcd[1×4]														
	基)社会実習(インターンシップ)1[2] 社会実習(インターンシップ)2[2] 社会実習(インターンシップ)3[2] 社会実習(インターンシップ)4[2]														
専門演習	一般							●専門演習 I [4]		●専門演習 II [4]		必修	8		
	留学							○専門演習[留学] I a[2]		○専門演習[留学] I b[2]		○専門演習[留学] I c[2]		選択必修	(2か4)
										●専門演習[留学] II [2]		必修	(2)		
発展教育科目	発展教育科目	社会福祉士養成課程【同課程履修者のみ】	中)社会福祉調査[2] ソーシャルワーク演習 I [2] ソーシャルワーク演習 II [2] ソーシャルワーク演習 III [2] ソーシャルワーク実習指導 I [1] ソーシャルワーク実習指導 II [1] 上)ソーシャルワーク演習 IV [2] ソーシャルワーク演習 V [2] ソーシャルワーク実習指導 III [1] ソーシャルワーク実習 I [2] ソーシャルワーク実習 II [3] ソーシャルワーク実習 III [3]										選択	54以上	除専門(教)と合算して専門4演習以上を ※国際教養コース所属学生は「短期語学留学1」「実践外国語(期間・大学名)」が選択必修
		キャリア発展科目	アントレプレナーシップ入門[2] アントレプレナーシップ基礎a[2] アントレプレナーシップ基礎b[2] アントレプレナーシップ基礎c[2] アントレプレナーシップ応用a[2] アントレプレナーシップ応用b[2]												
		外国語	基)ロシア語 I [2] ロシア語 II [2] 韓国語 I [2] 韓国語 II [2] 中)ロシア語 III [2] ロシア語 IV [2] 韓国語 III [2] 韓国語 IV [2] 中国語中級[2] 中国語会話[2] 中国語リスニング I [2] [留学生のみ] 日本語演習a[2] 日本語演習b[2] 日本語演習c[2] 日本事情[2] 上)中国語リスニング II [2] 中国語講義[2] 中国語作文[2]												
		発展英語	Active Listening and Reading(中級)[2] Active Listening and Reading(上級)[2] Intensive Listening and Reading[2] 英米文学概論[2] 英語文学講義a[2] 英語文学講義b[2]												
		留学外国語	短期語学留学1[*] 短期語学留学2[*] 実践外国語(期間・大学名)[*]												
リメディアル科目【2科目】		●国語基礎 ●数学基礎										卒業単位外	合計	124	修得が義務

●必修科目 ○選択必修科目 *: 実習時間数等により単位を認定

カリキュラム(2024年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	単位数	備考[卒業要件等]		
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター					
基礎教育科目	リテラシー科目(58単位)	スタンダード科目 [6科目][8単位]	●基礎演習a[2] ●基礎演習b[2] ●現代公益論Ⅰ[1] ●現代公益論Ⅱ[1] ●山形地域論a[1] ●山形地域論b[1]									必修	8		
		外国語科目	○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ /OEAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ /○中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [各1]		○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ /OEAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ /○中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ [各1]		○英語Ⅶ/OEAPⅦ /○中国語Ⅶ・Ⅷ [各1]		○英語Ⅷ/OEAPⅧ [各1]			選択必修	8	・同一言語8単位必修	
		情報科目	●情報リテラシー[2]		●データリテラシー[2]		●基礎プログラミングⅠ[2]		●基礎プログラミングⅡ[2]			必修	8		
		キャリア科目	●キャリアデザインa[2]						●キャリアデザインb[2]		企業研究セミナー[1]		必修/選択		・●科目は必修 ・共通科目と合わせて30単位以上
		人文社会科学 (21単位)	哲学[2] 倫理学[2] 文学概論[2] 心理学[2] 日本史a[2] 日本史b[2] 西洋史a[2] 西洋史b[2] 人文地理学a[2] 文化人類学[2] 世界地誌[2] 法学[2] 政治学[2] 社会学[2] 教育学[2] 特別支援教育[2] 環境社会学[2]		自然地理学a[2] 自然地理学b[2] ソーシャルワークの基礎と専門論a[2] ソーシャルワークの基礎と専門論b[2]		人文社会科学(21単位)		人文地理学a[2] 文化人類学[2] 世界地誌[2] 法学[2] 政治学[2] 社会学[2] 教育学[2] 特別支援教育[2] 環境社会学[2]		人文地理学a[2] 文化人類学[2] 世界地誌[2] 法学[2] 政治学[2] 社会学[2] 教育学[2] 特別支援教育[2] 環境社会学[2]		30以上		・人文社会科学の区分から6単位以上 ・STEAM系の区分から4単位以上 ・SDGs導入科目の区分から2単位以上
		STEAM系 (14単位)	英国庭園文化論[2] 経済学[2] 数学a[1] 数学b[1] 実用数学[1] 物理学[2] 天文学a[1] 天文学b[1] 統計学a[1] 統計学b[1] 医学一般[2]		○日経講座: デジタル社会論[2] ○セキュリティ論[1] ○AIと社会[1] (○から2単位選択必修)		STEAM系(14単位)		英国庭園文化論[2] 経済学[2] 数学a[1] 数学b[1] 実用数学[1] 物理学[2] 天文学a[1] 天文学b[1] 統計学a[1] 統計学b[1] 医学一般[2]		英国庭園文化論[2] 経済学[2] 数学a[1] 数学b[1] 実用数学[1] 物理学[2] 天文学a[1] 天文学b[1] 統計学a[1] 統計学b[1] 医学一般[2]		選択		
SDGs導入科目 (9単位)	生涯学習論[2] ジェンダー論[2] 貧困と福祉[2] 都市と交通[2] 食糧とエネルギー[2] 水と大気[2] 海ごみ問題と循環型社会デザイン[2] SDGsと未来デザイン[2]		SDGs導入科目(9単位)		生涯学習論[2] ジェンダー論[2] 貧困と福祉[2] 都市と交通[2] 食糧とエネルギー[2] 水と大気[2] 海ごみ問題と循環型社会デザイン[2] SDGsと未来デザイン[2]		生涯学習論[2] ジェンダー論[2] 貧困と福祉[2] 都市と交通[2] 食糧とエネルギー[2] 水と大気[2] 海ごみ問題と循環型社会デザイン[2] SDGsと未来デザイン[2]		生涯学習論[2] ジェンダー論[2] 貧困と福祉[2] 都市と交通[2] 食糧とエネルギー[2] 水と大気[2] 海ごみ問題と循環型社会デザイン[2] SDGsと未来デザイン[2]						
専門教育科目	共通専門科目 (12科目)[18単位]	基	○問題解決の思考法[1] ○情報発信・ファシリテーションの技法[1] (○から1科目選択必修)		基		中		中		選択必修		・○科目のどちらか選択必修 ・○科目を各6単位以上		
		経営コース (41単位)			基) 経営学基礎[2] 中) 経済学[2] 経営管理論[2] 経営戦略論[2] 経営工学a[1] 経営工学b[1] 職場のメンタルヘルス[2] 環境マネジメント論[1] 企業法務[2] 会計学[2] 管理会計[2] 上) 経済学特論a[2] 経済学特論b[2] 金融論[2] 産業組織論[2] ゲーム理論[2] 人的資源管理論[2] マーケティング論[2] 企業組織の心理学[2] ライフサイクルアセスメント論a[1] ライフサイクルアセスメント論b[1] 企業財務分析[2] 非営利組織会計[2]						選択必修		・○科目のどちらか選択必修 ・○科目を各6単位以上 ・所属コースから30単位以上(共通専門科目から最大6単位まで算入可能)		
		政策コース (38単位)			中) 政策入門[2] 社会保障論a[2] 社会保障論b[2] 公的年金論[2] 憲法[2] 統治機構論[2] 行政法[2] 民法Ⅰ[2] 国際法[2] 国際海洋法[2] 行政学[2] 地方自治論[2] 日本政治論Ⅰ[2] 上) 公共政策論[2] 公共系科目演習a[1] 公共系科目演習b[1] 民法Ⅱ[2] 国際関係の法と経済[2] 地方財政論[2] 日本政治論Ⅱ[2]						選択必修				
		地域福祉コース (34単位)			基) 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ[2] 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ[2] 中) ソーシャルワークの理論と方法a[2] ソーシャルワークの理論と方法b[2] ソーシャルワークの理論と方法c[2] ソーシャルワークの理論と方法d[2] 高齢者福祉論[2] 児童・家庭福祉論[2] 障害者福祉論[2] 公的扶助論[2] 医療福祉論[2] 権利擁護と成年後見[2] 刑事司法と福祉[2] 社会福祉調査[2] 福祉経営論[2] 上) 社会政策a[1] 社会政策b[1] 精神保健学[2]						選択必修		・国際教養コースに所属する場合は、選択した語学の語学科目はすべて必修 [英語、中国語] ・国際教養コース語学科目の他コース学生の履修は以下の6科目に限る 英語科目: Advanced English Communication TOEIC(中級) TOEIC(上級) 中国語科目: 中国語会話(初級) 中国語会話(中級) 中国語検定対策Ⅰ		
		国際教養コース (34単位)(ほか語学科目18単位(英語・中国語各9単位))			基) 日本文化論[2] 世界経済事情[2] サブカルチャー論a[1] サブカルチャー論b[1] 中) 国際関係論[2] 国際協力論[2] アジア経済論[2] 中国文化論[2] 比較文化論[2] アメリカ事情[2] 西洋文学史[2] 多文化共生論[2] 上) 国際ビジネス論[2] 中国経済論[2] 国際関係の法と経済[2] 国際行政学[2] EU論[2] 海外インターンシップ[2]								選択必修		
		観光・まちづくりコース (36単位)			中) 観光産業論a[1] 観光産業論b[1] 観光政策論a[1] 観光政策論b[1] 国際観光論a[1] 国際観光論b[1] 自然環境の保全と共生[2] 中山間・離島地域論[2] 地域観光資源論[2] 民俗学と観光Ⅰ[1] 民俗学と観光Ⅱ[1] 中心市街地の再生[2] 風景のデザインa[1] 風景のデザインb[1] 観光・まちづくり演習a[2] 観光・まちづくり演習b[2] 人文地理学b[2] 日本地誌[2] 上) NPO・NGO論[2] 第六次産業論[2] 社会起業家論Ⅰ[1] 社会起業家論Ⅱ[1] 余暇と観光の社会学[2] グリーンツーリズム論[2]						選択必修				
		メディア情報コース (43単位)			基) ゲームデザインa[1] ゲームデザインb[1] Unix演習a[1] Unix演習b[1] 地理情報基礎演習[1] 画像情報処理[1] マルチメディア論[1] データサイエンス入門a[1] データサイエンス入門b[1] 中) 数値情報処理a[1] 数値情報処理b[1] 情報デザイン論a[1] 情報デザイン論b[1] 計算機基礎理論[1] コンピュータシステム論[1] システム開発技術論[1] 企業活動と情報システム[1] データ分析手法a[1] データ分析手法b[1] 情報数学a[1] 情報数学b[1] 上) データベース論[1] データベース演習[1] 情報システムa[1] 情報システムb[1] インターネット論[1] インターネット演習[1] 情報システムc[1] 情報システムd[1] 応用プログラミング[1] データ構造とアルゴリズム[1] 応用数学a[1] 応用数学b[1] 機械学習入門a[1] 機械学習入門b[1] 応用数学c[1] 応用数学d[1] 統計モデリングa[1] 統計モデリングb[1] 機械学習管理論a[1] 機械学習管理論b[1] 機械学習管理論c[1] 機械学習管理論d[1]								選択必修		・4単位選択必修
		応用演習科目 (10科目)			中級) プロジェクト型応用演習1[2] プロジェクト型応用演習2[2] 競争型課題解決演習1[2] 競争型課題解決演習2[2]		基礎) インターンシップ1[2] インターンシップ2[2] インターンシップ3[2] インターンシップ4[2] 課題解決実践演習[*]		上級) 産学連携型長期学外学修				選択必修		
		専門演習	一般					●専門演習Ⅰ[4]		●専門演習Ⅱ[4]		必修	8		
		専門演習	留学					○専門演習[留学]Ⅰa[2]		○専門演習[留学]Ⅰb[2]		○専門演習[留学]Ⅰc[2]	○専門演習Ⅱ[留学][2]	(2)	・選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じて定める
発展教育科目	社会福祉士養成課程 (11科目)[21単位]			中) ソーシャルワーク演習Ⅰ[2] ソーシャルワーク演習Ⅱ[2] ソーシャルワーク演習Ⅲ[2] ソーシャルワーク実習指導Ⅰ[1] ソーシャルワーク実習指導Ⅱ[1] 上) ソーシャルワーク演習Ⅳ[2] ソーシャルワーク演習Ⅴ[2] ソーシャルワーク実習指導Ⅲ[1] ソーシャルワーク実習Ⅰ[2] ソーシャルワーク実習Ⅱ[3] ソーシャルワーク実習Ⅲ[3]										設置科目数 計312科目 修得単位数 計1244単位以上	
	外国語 発展 科目 (11 科目)	ロシア語 日本語	初級) ロシア語1[1] ロシア語2[1] 日本語演習a[1] 日本語演習b[1] 中級) ロシア語3[1] ロシア語4[1] 日本語演習c[1] 日本語事情[1]		短期語学留学1[*] 短期語学留学2[*]										
	留学外国語			実践外国語[期間・大学名][*]											
リメディアル科目 (2科目)	●国語基礎 ●数学基礎												卒業単位外 ・修得が義務		

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

□カリキュラム(2023・2022・2021年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	備考[卒業要件等]	
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター			
基礎教育科目	43科目 158単位	スタンダード導入科目 [6科目] [8単位]	●基礎演習a[2] ●基礎演習b[2] ●現代公益論Ⅰ[1] ○現代公益論Ⅱ[1] ●山形地域論a[1] ●山形地域論b[1]								必修	8	
		外国語科目	○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ /OEAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ [各1] ○中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [各1]		○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ /OEAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ /○中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ [各1]	○英語Ⅶ/OEAPⅦ /○中国語Ⅶ・Ⅷ [各1]	○英語Ⅷ/OEAPⅧ [各1]				選択必修	8	・同一言語8単位必修
		情報科目	●情報リテラシー[2]	●データリテラシー[2]	●基礎プログラミングⅠ[2]	●基礎プログラミングⅡ[2]					必修	8	
		キャリア科目	●キャリア入門a[1] ●キャリア入門b[1]			●キャリアと人生a[1] ●キャリアと人生b[1]	就職セミナー[2]				必修/選択	30以上	・●科目は必修 ・共通科目と合わせて30単位以上
		共通科目	人文社会系 [21科目] [30単位] STEAM系 [4科目] [10単位] SDGs導入科目 [3科目] [10単位]	哲学[2] 倫理学[2] 文学概論[2] 心理学[2] 日本史a[2] 日本史b[2] 西洋史a[2] 西洋史b[2] 人文地理学a[2] 文化人類学[2] 世界地誌[2] 法学[2] 政治学[2] 社会学[2] 教育学[2] 特別支援教育[2] 環境社会学[2] 自然地理学a[2] 自然地理学b[2] ソーシャルワークの基礎と専門職a[2] ソーシャルワークの基礎と専門職b[2]		英国庭園文化論[2] 経済学[2] 数学a[1] 数学b[1] 実用数学[1] 物理学[2] 天文学a[1] 天文学b[1] 統計学a[1] 統計学b[1] 医学一般[2] ○日経講座：デジタル社会論[2] ○セキュリティ論[1] ○AIと社会[1] (○から2単位選択必修)	文章表現法[2] 日経講座：メガトレンド論[2] 現代メディア論[2] ジャーナリズムの倫理[2]				選択	30以上	・人文社会系の区分から6単位以上 ・STEAM系の区分から4単位以上 ・SDGs導入科目の区分から2単位以上
専門教育科目	12科目 [18単位]	共通専門科目	○問題解決の思考法[1] ○情報発信・ファシリテーションの技法[1] (○から1科目選択必修) 基) 基礎簿記Ⅰ[2] 基礎簿記Ⅱ[2] 社会福祉学a[2] 社会福祉学b[2] 観光・まちづくり概論a[1] 観光・まちづくり概論b[1] 社会調査論a[1] 社会調査論b[1] 中) ミクロ経済学[2] マクロ経済学[2]								選択必修	6以上 〔発展教育科目と合算して〕	・○科目のどちらか選択必修 ・○科目を含む6単位以上
		経営コース [41単位]		基) 経営学基礎[2] 中) 経済史[2] 経営管理論[2] 経営戦略論[2] 経営工学a[1] 経営工学b[1] 職場のメンタルヘルス[2] 環境マネジメント論[1] 企業法務[2] 会計学[2] 管理会計[2] 上) 経済学特論a[2] 経済学特論b[2] 金融論[2] 産業組織論[2] ゲーム理論[2] 人の資源管理論[2] マーケティング論[2] 企業組織の心理学[2] ライフサイクルアセスメント論a[1] ライフサイクルアセスメント論b[1] 企業財務分析[2] 非営利組織会計[2]							選択	6以上 〔発展教育科目と合算して〕	・所属コースから30単位以上 (共通専門科目から最大6単位まで算入可能)
		政策コース [39単位]		中) 政策入門[2] 社会保障論a[2] 社会保障論b[2] 公的年金論[2] 憲法[2] 統治機構論[2] 行政法[2] 民法Ⅰ[2] 国際法[2] 国際海洋法[2] 行政学[2] 地方自治論[2] 日本政治論Ⅰ[2] 上) 公共経営論[2] 公共系科目演習a[1] 公共系科目演習b[1] 民法Ⅱ[2] 国際関係の法と経済[2] 地方財政論[2] 日本政治論Ⅱ[2]							選択	6以上 〔発展教育科目と合算して〕	・国際教養コースに所属する場合は、 選択した語学の語学科目はすべて必修 [■英語、▲中国語]
		地域福祉コース [34単位]		基) 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ[2] 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ[2] 中) ソーシャルワークの理論と方法a[2] ソーシャルワークの理論と方法b[2] ソーシャルワークの理論と方法c[2] ソーシャルワークの理論と方法d[2] 上) 高齢者福祉論[2] 児童・家庭福祉論[2] 障害者福祉論[2] 公的扶助論[2] 医療福祉論[2] 権利擁護と成年後見[2] 刑事司法と福祉[2] 社会福祉調査[2] 福祉経営論[2]							選択	6以上 〔発展教育科目と合算して〕	・国際教養コース語学科目他コース 学生の履修は以下の6科目に限る 英語科目: Advanced English Communication TOEIC(中級) TOEIC(上級) 中国語会話(初級) 中国語会話(中級) 中国語検定対策Ⅰ
		国際教養コース [34単位 (ほか語学科目 13単位(英語・中国語各 9単位))]		基) 日本文化論[2] 世界経済事情[2] サブカルチャー論a[1] サブカルチャー論b[1] 中) 国際関係論[2] 国際協力論[2] アジア経済論[2] 中国文化論[2] 比較文化論[2] アメリカ事情[2] 西洋文学史[2] 多文化共生論[2] 上) 国際ビジネス論[2] 中国経済論[2] International Economics[2] 国際行政学[2] EU論[2] 海外インターンシップ[2]							選択	6以上 〔発展教育科目と合算して〕	・国際教養コース語学科目他コース 学生の履修は以下の6科目に限る 英語科目: Advanced English Communication TOEIC(中級) TOEIC(上級) 中国語会話(初級) 中国語会話(中級) 中国語検定対策Ⅰ
		観光・まちづくりコース [36単位]		中) 観光産業論a[1] 観光産業論b[1] 観光政策論a[1] 観光政策論b[1] 国際観光論a[1] 国際観光論b[1] 自然環境の保全と共生[2] 中山間・離島地域論[2] 地域・観光資源論[2] 民俗学と観光Ⅰ[1] 民俗学と観光Ⅱ[1] 中心市街地の再生[2] 風景のデザインa[1] 風景のデザインb[1] 観光・まちづくり演習a[2] 観光・まちづくり演習b[2] 人文地理学b[2] 上) NPO-NGO論[2] 第六次産業論[2] 社会起業家論Ⅰ[1] 社会起業家論Ⅱ[1] 余暇と観光の社会学[2] グリーンツーリズム論[2]							選択	6以上 〔発展教育科目と合算して〕	・4単位選択必修
発展教育科目	11科目	メディア情報コース [43単位]		基) ゲームデザインa[1] ゲームデザインb[1] Unix演習a[1] Unix演習b[1] 画像情報基礎演習[1] 画像情報処理[1] マルチメディア論[1] データサイエンス入門a[1] データサイエンス入門b[1] 中) 数値情報処理a[1] 数値情報処理b[1] 情報デザイン論a[1] 情報デザイン論b[1] 計算機基礎理論[1] コンピュータシステム論[1] システム開発技術論[1] 企業活動と情報システム[1] データ分析手法a[1] データ分析手法b[1] 情報数学a[1] 情報数学b[1] 上) データベース論[1] データベース演習[1] 情報システムa[1] 情報システムb[1] インターネット論[1] インターネット演習[1] 情報システムc[1] 情報システムd[1] 応用プログラミング[1] データ構造とアルゴリズム[1] 応用数学a[1] 応用数学b[1] 機械学習入門a[1] 機械学習入門b[1] 応用数学c[1] 応用数学d[1] 統計モデリングa[1] 統計モデリングb[1] 機械学習理論a[1] 機械学習理論b[1] 機械学習理論c[1] 機械学習理論d[1]							選択	8	・4単位選択必修
		応用演習科目 [10科目]		中級) プロジェクト型応用演習1[2] プロジェクト型応用演習2[2] 競争型課題解決演習1[2] 競争型課題解決演習2[2]						選択	8	・4単位選択必修	
		一般		基礎) インターンシップ1[2] インターンシップ2[2] インターンシップ3[2] インターンシップ4[2] 課題解決実践演習[*]						選択	8	・4単位選択必修	
		留学		●専門演習Ⅰ[4]						選択	8	・4単位選択必修	
発展教育科目	11科目	社会福祉士養成課程 [11科目] [22単位]		中) ソーシャルワーク演習Ⅰ[2] ソーシャルワーク演習Ⅱ[2] ソーシャルワーク演習Ⅲ[2] ソーシャルワーク実習指導Ⅰ[1] ソーシャルワーク実習指導Ⅱ[1] 上) ソーシャルワーク演習Ⅳ[2] ソーシャルワーク演習Ⅴ[2] ソーシャルワーク実習指導Ⅲ[1] ソーシャルワーク実習Ⅰ[2] ソーシャルワーク実習Ⅱ[3] ソーシャルワーク実習Ⅲ[3]						選択	8	・4単位選択必修	
		外国語 発展 科目 [11 科目]	初級) ロシア語1[1] ロシア語2[1] 日本語演習a[1] 日本語演習b[1] 中級) ロシア語3[1] ロシア語4[1] 日本語演習c[1] 日本語情[1]							選択	8	・4単位選択必修	
		短期語学留学1[*] 短期語学留学2[*]								選択	8	・4単位選択必修	
リメディアル科目 [2科目]		●国語基礎 ●数学基礎							卒業単位外	8	・修得が義務		

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

科目ナンバリングとカリキュラムツリー

各授業科目が関連する分野や学修段階を体系的に示すことを目的に、科目のナンバリングを行っています。

◎科目ナンバリング

科目ごとに、科目群、難易度、分野に対応する記号・番号を付しています。この記号・番号は、カリキュラムツリーに関連づけられています。

例: CAR 1 1 1
① ② ③ ④

- ①…科目群として、3文字の略表で表現します。
- ②…大分類として、難易度を100の位で表現します。100番台が基礎レベル、200番台が中級レベル、300番台が上級レベルの3段階です。
- ③…中分類として、学問分野等を10の位で分類します。
- ④…1桁の数字は、通し番号です。

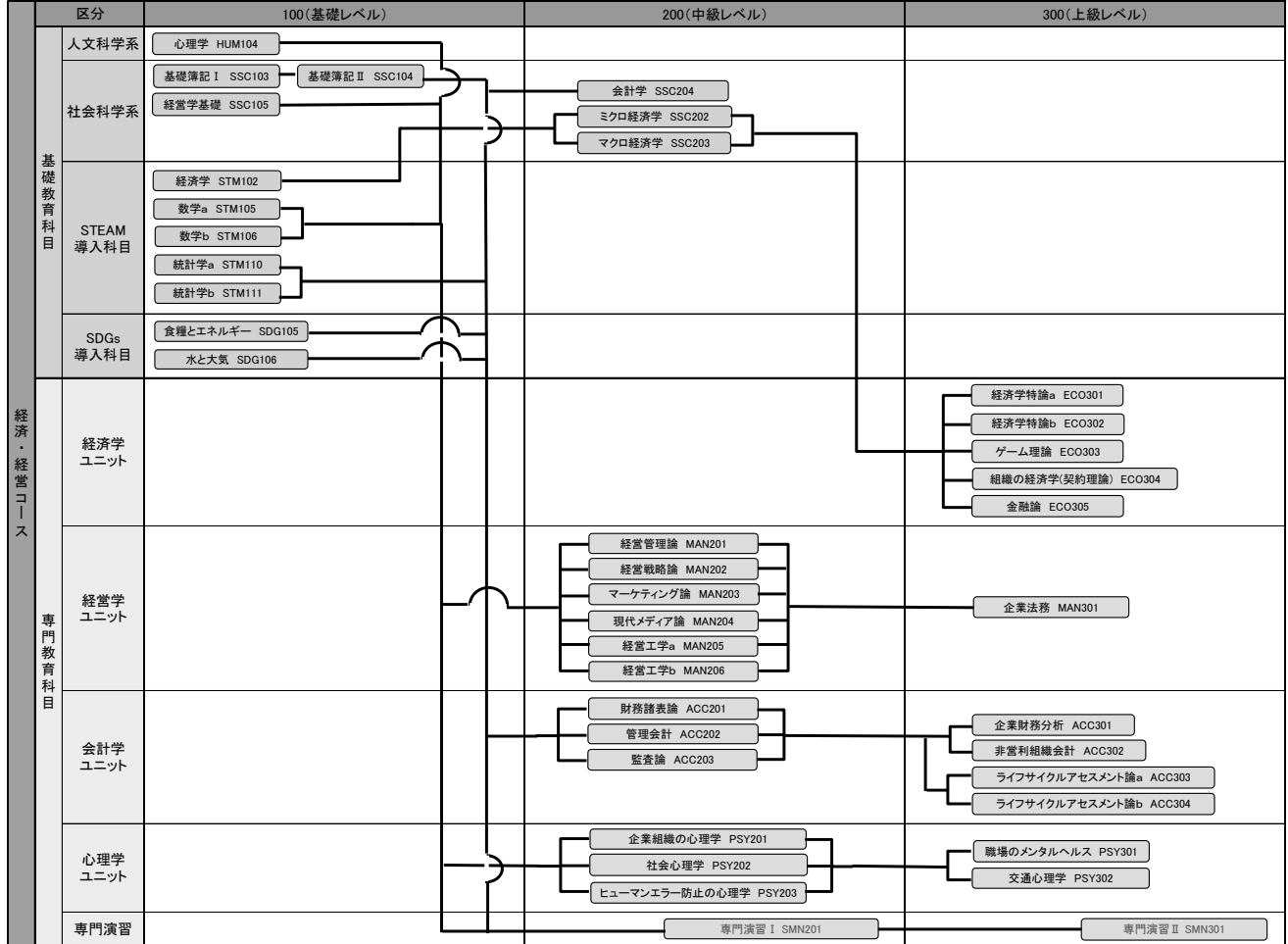
◎カリキュラムツリー

カリキュラムツリーは、横軸は難易度(100の位)、縦軸は科目群(英字3文字)、分野(10の位)となっています。また、科目同士の関連性がわかるように線で繋がれており、全体的な体系図を概観できるようになっています。科目間の接続線の接続パターンにより系統的に履修を行う際の履修の必要性の強さを表現しています。

接続パターン	「A」から「B」に進む場合の中間科目の履修必要性の強度	備考
	強	「中間科目の少なくとも1つは履修する、もしくは全て履修するべき」という場合の表記法
	弱	「中間科目を履修するのが望ましい」という場合の表記法

科目区分	1文字目	2文字目	3文字目	100番台	200番台	300番台
スタディー導入科目	S	I	D	基礎 レベル	中級 レベル	上級 レベル
リテラシー科目	L	T	C			
英語	E	N	G			
EAP	E	A	P			
中国語	C	H	I			
情報科目	I	C	T			
キャリア科目	C	A	R			
共通科目	C	O	M			
人文科学系	H	U	M			
社会科学系	S	S	C			
STEAM導入科目	S	T	M			
SDGs導入科目	S	D	G			
専門基礎科目	S	B	C			
経済・経営コース	E	B	A			
経済学ユニット	E	C	O			
経営学ユニット	M	A	N			
会計学ユニット	A	C	C			
心理学ユニット	P	S	Y			
政策コース	P	O	L			
法学ユニット	L	A	W			
政治行政ユニット	A	D	M			
公共政策ユニット	P	U	B			
地域福祉コース	C	B	W			
福祉政策ユニット	W	F	P			
地域福祉ユニット	C	W	F			
ソーシャルワークユニット	S	C	W			
国際教養コース	I	L	A			
英語ユニット	E	G	L			
文化論ユニット	C	U	L			
国際関係ユニット	I	R	L			
観光・まちづくりコース	C	D	T			
社会・空間ユニット	S	P	C			
まちづくりユニット	C	M	D			
観光ユニット	T	R	M			
メディア情報コース	M	I	T			
データサイエンスユニット	D	S	E			
AI・機械学習ユニット	A	M	L			
ソフトウェアユニット	S	X	W			
Society5.0ユニット	S	F	Z			
応用演習科目	A	P	S			
専門演習	S	M	N			
社会福祉士養成課程	S	W	P			
キャリア発展科目	E	T	R			
外国語発展科目	E	X	F			
中国語	C	N	S			
ロシア語	R	U	S			
韓国語	K	O	R			
日本語	J	P	N			
発展英語	A	V	E			
留学外国語	S	A	L			
リメディアル科目	R	M	E			
教職課程	T	T	P			

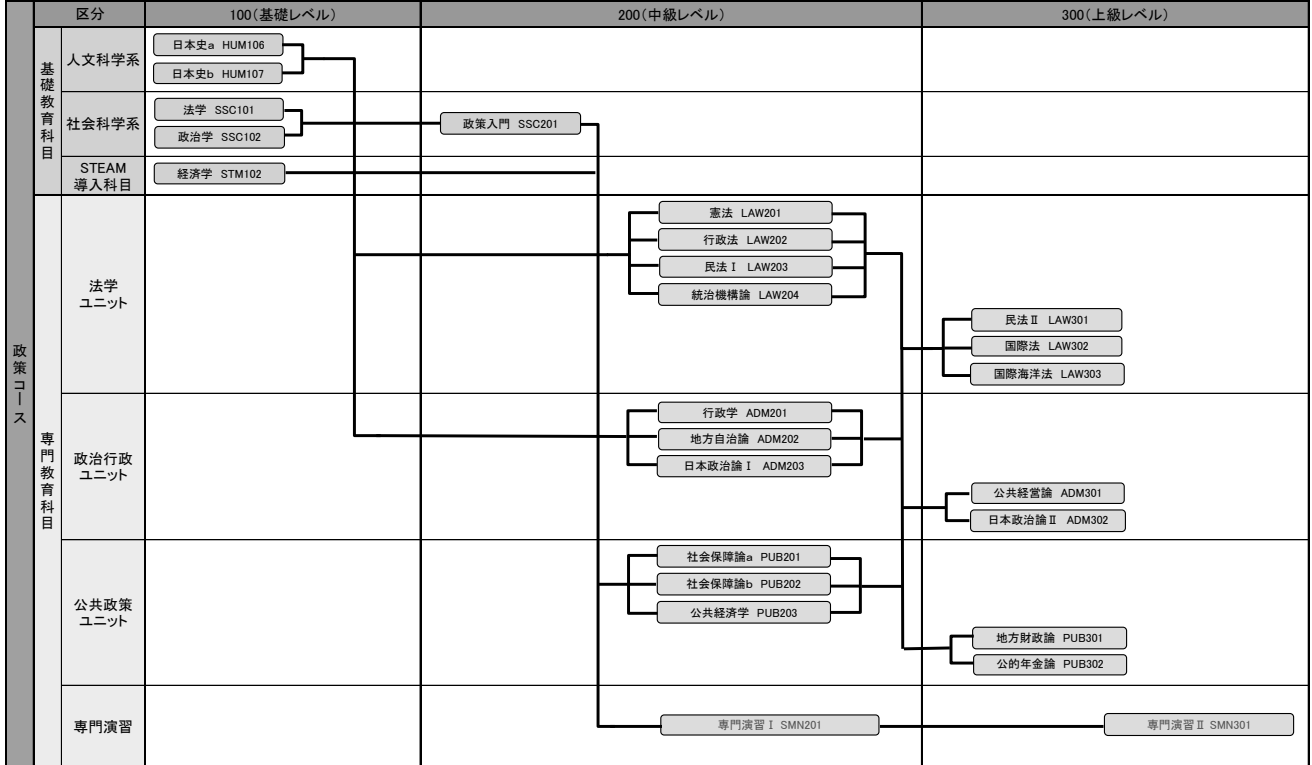
□カリキュラムツリー【経済・経営コース(令和6年度以前入学者は「経営コース」)の学びの流れ】



【経済・経営コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本)履修科目名	総科目数 (単位数)
経済・経営 コース①	企業経営に 関心のある人	企業を取り巻く環境を把握するための経済学、市場競争を勝ち抜くための経営学、経営成績や財政状態を分析するための会計学、人的資源管理や顧客の獲得に必要な心理学等を幅広く身につけます。	<p>【共通科目(基礎レベル)9科目】 心理学(HUM104)、経済学(STM102)、基礎簿記Ⅰ(SSC103)、基礎簿記Ⅱ(SSC104)、経営学基礎(SSC105)、数学a(STM105)、数学b(STM106)、統計学a(STM110)、統計学b(STM111)</p> <p>【共通科目(中級レベル)3科目】 ミクロ経済学(SSC202)、マクロ経済学(SSC203)、会計学(SSC204)</p> <p>【経済学ユニット5科目(8単位以上を目安に履修)】(「経済学」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」修得が必須) 経済学特論a(ECO301)、経済学特論b(ECO302)、ゲーム理論(ECO303)、組織の経済学(契約理論)(ECO304)、金融論(ECO305)</p> <p>【経営学ユニット7科目(8単位以上を目安に履修)】(「経営学基礎」修得が必須) 経営管理論(MAN201)、経営戦略論(MAN202)、マーケティング論(MAN203)、現代メディア論(MAN204)、経営工学a(MAN205)、経営工学b(MAN206)、企業法務(MAN301)</p> <p>【会計学ユニット5科目(8単位以上を目安に履修)】(「会計学」修得が必須) 財務諸表論(ACC201)、管理会計(ACC202)、監査論(ACC203)、企業財務分析(ACC301)、非営利組織会計(ACC302)</p> <p>【心理学ユニット5科目(8単位以上を目安に履修)】(「心理学」修得が必須) 企業組織の心理学(Psy201)、社会心理学(Psy202)、ヒューマンエラー防止の心理学(Psy203)、職場のメンタルヘルス(Psy301)、交通心理学(Psy302)</p>	34科目 (62単位)
経済・経営 コース②	非営利組織に 関心のある人	政府(中央官庁)や自治体(地方公共団体)や民間企業以外に、NPOなどの非営利組織の重要性が高まっています。そうした非営利組織の経営や管理に必要な知識等を身につけます。	<p>【共通科目(基礎レベル)6科目】 経済学(STM102)、基礎簿記Ⅰ(SSC103)、基礎簿記Ⅱ(SSC104)、経営学基礎(SSC105)、統計学a(STM110)、統計学b(STM111)</p> <p>【共通科目(中級レベル)3科目】 ミクロ経済学(SSC202)、マクロ経済学(SSC203)、会計学(SSC204)</p> <p>【経済学ユニット5科目(8単位を目安に履修)】(「経済学」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」修得が必須) 経済学特論a(ECO301)、経済学特論b(ECO302)、ゲーム理論(ECO303)、組織の経済学(契約理論)(ECO304)、金融論(ECO305)</p> <p>【経営学ユニット3科目】(「経営学基礎」修得が必須) 経営管理論(MAN201)、経営戦略論(MAN202)、マーケティング論(MAN203)</p> <p>【会計学ユニット5科目(8単位を目安に履修)】(「会計学」修得が必須) 財務諸表論(ACC201)、管理会計(ACC202)、監査論(ACC203)、企業財務分析(ACC301)、非営利組織会計(ACC302)</p> <p>【心理学ユニット5科目(8単位を目安に履修)】(「心理学」修得が必須) 企業組織の心理学(Psy201)、社会心理学(Psy202)、ヒューマンエラー防止の心理学(Psy203)、職場のメンタルヘルス(Psy301)、交通心理学(Psy302)</p> <p>【公共政策ユニット(政策コース)2科目】 公共経済学(PUB203)、地方財政論(PUB301)</p>	29科目 (56単位)

□カリキュラムツリー【政策コースの学びの流れ】



【政策コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本)履修科目名	総科目数 (単位数)
政策コース ①	国や地方自治体の公務に関心のある人	国や自治体の公務に関連する科目を、経済から法律まで幅広く学びます。	<p>【共通科目(基礎レベル)5科目】 日本史a(HUM106)、日本史b(HUM107)、法学(SSC101)、政治学(SSC102)、経済学(STM102)</p> <p>【共通科目(中級レベル)2科目】 ミクロ経済学(SSC202)、マクロ経済学(SSC203)</p> <p>【法学ユニット7科目(8単位以上を目安に履修)】 憲法(LAW201)、行政法(LAW202)、統治機構論(LAW204)、民法 I (LAW203)、民法 II (LAW301)、国際法(LAW302)、国際海洋法(LAW303)</p> <p>【政治行政ユニット5科目(8単位以上を目安に履修)】 行政学(ADM201)、地方自治論(ADM202)、日本政治論 I (ADM203)、日本政治論 II (ADM302)、公共経営論(ADM301)</p> <p>【公共政策ユニット5科目(8単位以上を目安に履修)】 社会保障論a(PUB201)、社会保障論b(PUB202)、公共経済学(PUB203)、地方財政論(PUB301)、公的年金論(PUB302)</p>	24科目 (48単位)
政策コース ②	政策や社会の仕組みに関心のある人、社会科・公民科の教員を目指す人	公共政策の考え方を理解し、政策に関する構想力を身につけます。中学校社会科・高等学校公民科の教員を目指す人にも有益です。	<p>【共通科目(基礎レベル)5科目】 日本史a(HUM106)、日本史b(HUM107)、法学(SSC101)、政治学(SSC102)、経済学(STM102)</p> <p>【共通科目(中級レベル)5科目】 政策入門(SSC201)、ミクロ経済学(SSC202)、マクロ経済学(SSC203)、会計学(SSC204)、環境社会学(SSC205)</p> <p>【法学ユニット7科目(8単位以上を目安に履修)】 憲法(LAW201)、行政法(LAW202)、統治機構論(LAW204)、民法 I (LAW203)、民法 II (LAW301)、国際法(LAW302)、国際海洋法(LAW303)</p> <p>【政治行政ユニット5科目(8単位以上を目安に履修)】 行政学(ADM201)、地方自治論(ADM202)、日本政治論 I (ADM203)、日本政治論 II (ADM302)、公共経営論(ADM301)</p> <p>【公共政策ユニット4科目】 社会保障論a(PUB201)、社会保障論b(PUB202)、地方財政論(PUB301)、公的年金論(PUB303)</p>	26科目 (52単位)

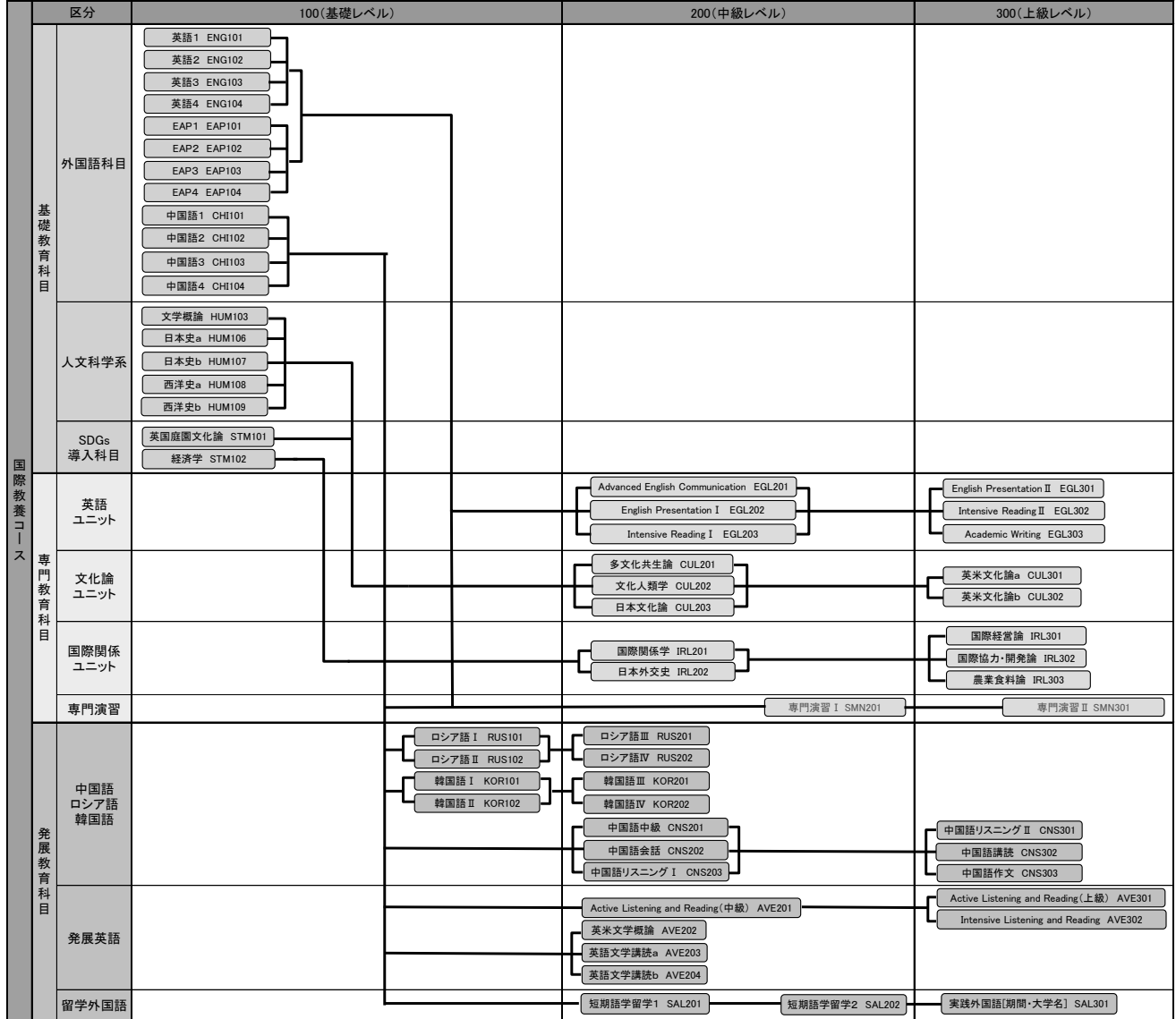
□カリキュラムツリー【地域福祉コース及び社会福祉士養成課程の学びの流れ】

区分		100(基礎レベル)	200(中級レベル)	300(上級レベル)
基礎教育科目	人文科学系	心理学 HUM104		
	社会科学系	社会学 SSC107		
		社会福祉学a SSC108		
		社会福祉学b SSC109		
		ソーシャルワークの基盤と専門種a SSC110		
ソーシャルワークの基盤と専門種b SSC111				
STEAM導入科目	医学一般 STM112			
SDGs導入科目	貧困と福祉 SDG103			
地域福祉コース 専門教育科目	福祉政策ユニット		社会政策a WFP201 社会政策b WFP202 児童・家庭福祉論 WFP203 障害者福祉論 WFP204 高齢者福祉論 WFP205 公的扶助論 WFP206 医療福祉論 WFP207	
	地域福祉ユニット		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ CWF201 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ CWF202 福祉経営論 CWF203 権利擁護と成年後見 CWF204 刑事司法と福祉 CWF205	
	ソーシャルワークユニット		ソーシャルワークの理論と方法a SCW201 ソーシャルワークの理論と方法b SCW202 ソーシャルワークの理論と方法c SCW203 ソーシャルワークの理論と方法d SCW204 精神保健学 SCW205	
	専門演習		専門演習Ⅰ SMN201	専門演習Ⅱ SMN301
社会福祉士養成課程 発展教育科目	社会福祉士養成課程		社会福祉調査 SWP201 ソーシャルワーク演習Ⅰ SWP202 ソーシャルワーク演習Ⅱ SWP203 ソーシャルワーク演習Ⅲ SWP204 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ SWP205 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ SWP206	ソーシャルワーク演習Ⅳ SWP301 ソーシャルワーク演習Ⅴ SWP302 ソーシャルワーク実習指導Ⅲ SWP303 ソーシャルワーク実習Ⅰ SWP304 ソーシャルワーク実習Ⅱ SWP305 ソーシャルワーク実習Ⅲ SWP306

【地域福祉コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本)履修科目名	総科目数 (単位数)
地域福祉コース ①	社会福祉士 国家資格の 取得を目指す人	社会福祉士の国家試験 の受験資格を得るため、 厚生労働省の指定科目を 中心に履修します。	<p>【共通科目(基礎レベル)6科目】 心理学(HUM104)、社会学(SSC107)、社会福祉学a(SSC108)、医学一般(STM112) ソーシャルワークの基盤と専門職a(SSC109)、ソーシャルワークの基盤と専門職b(SSC110)</p> <p>【政策コース(公共政策ユニット)2科目】 社会保障論a(PUB201)、社会保障論b(PUB202)</p> <p>【福祉政策ユニット6科目】 社会福祉学b(WFP203)、児童・家庭福祉論(WFP204)、障害者福祉論(WFP205)、高齢者福祉論(WFP206)、公的扶助論(WFP207)、 医療福祉論(WFP208)</p> <p>【地域福祉ユニット5科目】 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ(CWF201)、地域福祉と包括的支援体制Ⅱ(CWF202)、福祉経営論(CWF203)、 権利擁護と成年後見(CWF204)、刑事司法と福祉(CWF205)</p> <p>【ソーシャルワークユニット4科目】 ソーシャルワークの理論と方法a(SCW201)、ソーシャルワークの理論と方法b(SCW202)、 ソーシャルワークの理論と方法c(SCW203)、ソーシャルワークの理論と方法d(SCW204)</p> <p>【社会福祉士養成課程12科目】 社会福祉調査(SWP201)、 ソーシャルワーク演習Ⅰ(SWP202)、ソーシャルワーク演習Ⅱ(SWP203)、ソーシャルワーク演習Ⅲ(SWP204)、 ソーシャルワーク演習Ⅳ(SWP301)、ソーシャルワーク演習Ⅴ(SWP302)、 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ(SWP205)、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ(SWP206)、ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(SWP303)、 ソーシャルワーク実習Ⅰ(SWP304)、ソーシャルワーク実習Ⅱ(SWP305)、ソーシャルワーク実習Ⅲ(SWP306)</p>	35科目 (69単位)
地域福祉コース ②	地域福祉に 関心のある人	地域福祉の現状を知り、 課題を発見して分析し、そ の解決を目指すため、社 会福祉の各分野の基本 的な知識を学びます。	<p>【共通科目(基礎レベル)7科目】 心理学(HUM104)、社会学(SSC107)、社会福祉学a(SSC108)、医学一般(STM112)、貧困と福祉(SDG103) ソーシャルワークの基盤と専門職a(SSC109)、ソーシャルワークの基盤と専門職b(SSC110)</p> <p>【福祉政策ユニット6科目(8単位以上を目安に履修)】 社会福祉学b(WFP203)、児童・家庭福祉論(WFP204)、障害者福祉論(WFP205)、高齢者福祉論(WFP206)、公的扶助論(WFP207)、 医療福祉論(WFP208)</p> <p>【地域福祉ユニット5科目(8単位以上を目安に履修)】 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ(CWF201)、地域福祉と包括的支援体制Ⅱ(CWF202)、福祉経営論(CWF203)、 権利擁護と成年後見(CWF204)、刑事司法と福祉(CWF205)</p> <p>【ソーシャルワークユニット5科目(8単位以上を目安に履修)】 ソーシャルワークの理論と方法a(SCW201)、ソーシャルワークの理論と方法b(SCW202)、 ソーシャルワークの理論と方法c(SCW203)、ソーシャルワークの理論と方法d(SCW204)、精神保健学(SCW205)</p>	23科目 (46単位)

□カリキュラムツリー【国際教養コースの学びの流れ】



【国際教養コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本)履修科目名	総科目数 (単位数)
国際教養 コース ①	世界の文化に 関心のある人 (英語選択)	日本と海外の国・地域の 歴史や文化を学び、多文 化共生の現状と課題を理 解する。	【リテラシー科目(外国語)4科目】英語1～4/EAP1～4 【共通科目7科目】 文学概論(HUM103)、日本史a(HUM106)、日本史b(HUM107)、西洋史a(HUM108)、西洋史b(HUM109)、英国庭園文化論 (STM101)、経済学(STM102) 【英語ユニット6科目(8単位以上を目安に履修)】 Advanced English Communication(EGL201)、English Presentation I (EGL202)、English Presentation II (EGL301)、 Intensive Reading I (EGL203)、Intensive Reading II (EGL302)、Academic Writing(EGL303) 【文化論ユニット5科目(8単位以上を目安に履修)】 多文化共生論(CUL201)、文化人類学(CUL202)、日本文化論(CUL203)、英米文化論a(CUL301)、英米文化論b(CUL302) 【発展英語科目6科目】 Active Listening and Reading(中級)(AVE201)、Active Listening and Reading(上級)(AVE301)、 Intensive Listening and Reading(AVE302)、英米文学概論(AVE202)、英語文学講読a(AVE203)、英語文学講読b(AVE204) 【留学外国語】短期語学留学1(SAL201)・2(SAL202)、実践外国語(SAL301)	31科目 (56単位+ α)
国際教養 コース ②	国際的な仕事に 関心のある人 (英語選択)	国際的な課題について学 ぶとともに、国際的なビジ ネスの現状と課題を理解 する。	【リテラシー科目(外国語)4科目】英語1～4/EAP1～4 【共通科目7科目】 文学概論(HUM103)、日本史a(HUM106)、日本史b(HUM107)、西洋史a(HUM108)、西洋史b(HUM109)、英国庭園文化論 (STM101)、経済学(STM102) 【英語ユニット6科目(8単位以上を目安に履修)】 Advanced English Communication(EGL201)、English Presentation I (EGL202)、English Presentation II (EGL301)、 Intensive Reading I (EGL203)、Intensive Reading II (EGL302)、Academic Writing(EGL303) 【国際関係ユニット5科目(8単位以上を目安に履修)】 国際関係学(IRL201)、日本外交史(IRL202)、国際経営論(IRL301)、国際協力・開発論(IRL302)、農業食料論(IRL303) 【発展英語科目6科目】 Active Listening and Reading(中級)(AVE201)、Active Listening and Reading(上級)(AVE301)、 Intensive Listening and Reading(AVE302)、英米文学概論(AVE202)、英語文学講読a(AVE203)、英語文学講読b(AVE204) 【留学外国語】短期語学留学1(SAL201)・2(SAL202)、実践外国語(SAL302)	31科目 (56単位+ α)
国際教養 コース ③	中国文化と東ア ジアのビジネス に関心のある人 (中国語選択)	日本や中国を含む東アジ アの文化などについて学 び、地域の国際化の現状 と課題を理解する。	【リテラシー科目(外国語)4科目】中国語1～4 【共通科目4科目】 文学概論(HUM103)、日本史a(HUM106)、日本史b(HUM107)、経済学(STM102) 【文化論ユニット3科目】 多文化共生論(CUL201)、文化人類学(CUL202)、日本文化論(CUL203) 【国際関係ユニット5科目(8単位以上を目安に履修)】 国際関係学(IRL201)、日本外交史(IRL202)、国際経営論(IRL301)、国際協力・開発論(IRL302)、農業食料論(IRL303) 【外国語発展科目(中国語)6科目】 中国語中級(CNS201)、中国語会話(CNS202)、中国語リスニング I (CNS203)、中国語リスニング II (CNS301)、 中国語講読(CNS302)、中国語作文(CNS303) 【外国語発展科目(韓国語)4科目】 韓国語 I (KOR101)、韓国語 II (KOR102)、韓国語 III (KOR201)、韓国語 IV (KOR202)、 【留学外国語】短期語学留学1(SAL201)・2(SAL202)、実践外国語(SAL302)	29科目 (52単位+ α)

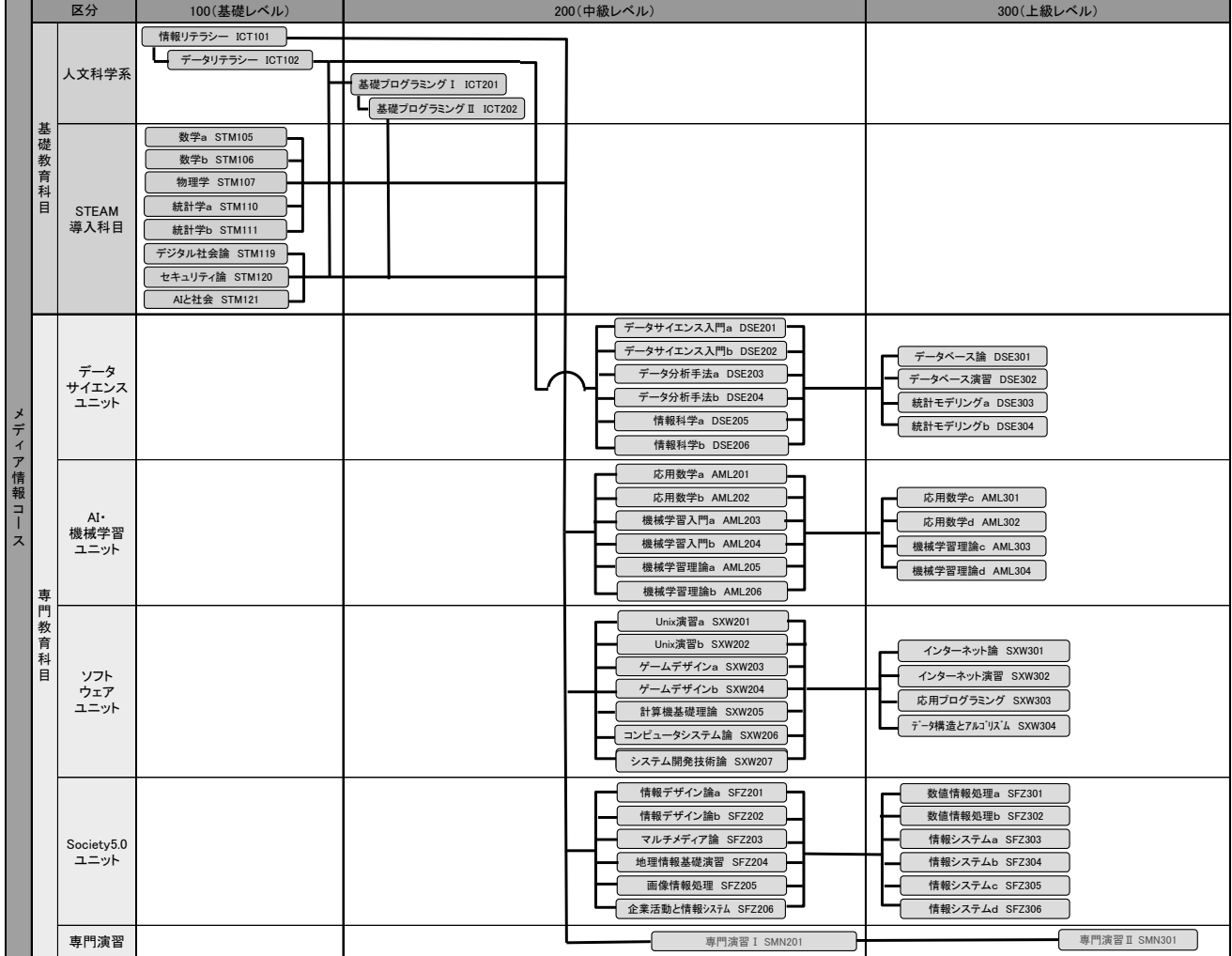
ロカリキュラムツリー【観光・まちづくりコースの学びの流れ】

区分		100(基礎レベル)	200(中級レベル)	300(上級レベル)	
基礎 教育科目	人文科学系	日本史a HUM106			
		日本史b HUM107			
		西洋史a HUM108			
		西洋史b HUM109			
		人文地理学a HUM110			
		日本地誌 HUM111			
		世界地誌 HUM112			
	社会科学系	社会学 SSC107			
		環境社会学 SSC112			
	STEAM 導入科目	英国庭園文化論 STM101			
自然地理学a STM103					
自然地理学b STM104					
SDGs 導入科目	都市と交通 SDG104				
	食糧とエネルギー SDG105				
	水と大気 SDG106				
	海ごみ問題と循環型社会デザイン SDG107				
観光・まちづくり コース	社会・空間 ユニット		人文地理学b SPC201		
			風景のデザインa SPC202		
			風景のデザインb SPC203		
			サブカルチャー論 SPC204		
			余暇と観光の社会学 SPC205		
	まちづくり ユニット		中心市街地の再生 CMD201	観光・まちづくり演習a CMD207	観光・まちづくり演習b CMD208
			中山間・離島地域論 CMD202		
			自然環境の保全と共生 CMD203		
			第六次産業論 CMD204		
			社会起業家論a CMD205		
			社会起業家論b CMD206		
	観光 ユニット		国際観光論a TRM201		
			国際観光論b TRM202		
			観光政策論a TRM203		
			観光政策論b TRM204		
		地域・観光資源論 TRM205			
		民俗学と観光a TRM206			
		民俗学と観光b TRM207			
		グリーンツーリズム論 TRM208			
専門演習			専門演習 I SMN203	専門演習 II SMN204	

【観光・まちづくりコース】基本履修モデル

基本的な考え方		これからの都市、そして農山漁村も、訪れた観光客が良い所ですねえと言ってくれない所は人口が流出し存続できません。また観光も、これからは住んでいる人が誇りを持って豊かに暮らしている所を訪ねることが主流になるでしょう。したがって、観光とまちづくりの両方を学ぶことが基本です。それを踏まえて①と②を見てください。		
具体的な履修方法		卒業要件に必要なのは特定の1ユニットから8単位以上、コースの専門科目20単位以上です。履修方針として薦めるのは3ユニット全てで8単位以上修得する(8×3=24)ことです。ただし、8単位を必ずしも取得できないユニットが1つあっても良いでしょう。		
コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本)履修科目名	総科目数 (単位数)
観光・まちづくりコース ①	まちづくりや地域活性化に関心のある人	コースの学びの基本となる【社会・空間ユニット】と、【まちづくりユニット】に、まず目を向けましょう。ただし、観光、特に今後はインバウンド観光は活性化に欠かせませんし、むらづくりには民俗学、グリーンツーリズムを学ぶことが必要です。	<p>【共通科目(基礎レベル)16科目】 日本史a(HUM106)、日本史b(HUM107)、西洋史a(HUM108)、西洋史b(HUM109)、人文地理学a(HUM110)、日本地誌(HUM111)、世界地誌(HUM112)、社会学(SSC107)、環境社会学(SSC112)、英国庭園文化論(STM101)、自然地理学a(STM103)、自然地理学b(STM104)、都市と交通(SDG104)、食糧とエネルギー(SDG105)、水と大気(SDG106)、海ごみ問題と循環型社会デザイン(SDG107)</p> <p>【社会・空間ユニット5科目8単位】 人文地理学b(SPC201)、風景のデザインa(SPC202)、風景のデザインb(SPC203)、サブカルチャー論(SPC204)、余暇と観光の社会学(SPC205)</p> <p>【まちづくりユニット8科目(8単位以上を目安に履修)】 中心市街地の再生(CMD201)、中山間・離島地域論(CMD202)、自然環境の保全と共生(CMD203)、第六次産業論(CMD204)、社会起業家論a(CMD205)、社会起業家論b(CMD206)、観光・まちづくり演習a(CMD207)、観光・まちづくり演習b(CMD208)</p>	29科目 (54単位)
観光・まちづくりコース ②	観光産業や地域観光に関心のある人	コースの学びの基本となる【社会・空間ユニット】と、【観光ユニット】に、まず目を向けましょう。ただし、日本が弱い都市観光を考えるには「中心市街地の再生」を、農山漁村の暮らしを訪ねる観光には「中山間・離島地域論」を、エコツーリズムには「自然環境の保全と再生」を、農村で農家レストランや農家民宿を始めるには「第六次産業論」「社会起業家論」を学んでおくことが必要です。	<p>【共通科目(基礎レベル)16科目】 日本史a(HUM106)、日本史b(HUM107)、西洋史a(HUM108)、西洋史b(HUM109)、人文地理学a(HUM110)、日本地誌(HUM111)、世界地誌(HUM112)、社会学(SSC107)、環境社会学(SSC112)、英国庭園文化論(STM101)、自然地理学a(STM103)、自然地理学b(STM104)、都市と交通(SDG104)、食糧とエネルギー(SDG105)、水と大気(SDG106)、海ごみ問題と循環型社会デザイン(SDG107)</p> <p>【社会・空間ユニット5科目8単位】 人文地理学b(SPC201)、風景のデザインa(SPC202)、風景のデザインb(SPC203)、サブカルチャー論(SPC204)、余暇と観光の社会学(SPC205)</p> <p>【観光ユニット8科目(8単位以上を目安に履修)】 国際観光論a(TRM201)、国際観光論b(TRM202)、観光政策論a(TRM203)、観光政策論b(TRM204)、地域・観光資源論(TRM205)、民俗学と観光a(TRM206)、民俗学と観光b(TRM207)、グリーンツーリズム論(TRM208)</p> <p>【まちづくりユニット2科目】 観光・まちづくり演習a(CMD207)、観光・まちづくり演習b(CMD208)</p>	31科目 (54単位)

□カリキュラムツリー【メディア情報コースの学びの流れ】



【メディア情報コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本)履修科目名	総科目数 (単位数)
メディア 情報コース ①	ソフトウェアの 開発に興味があ る人	自らのアイデアで世の中を変えていくシステムの作成に必要な基礎知識と、それらのプログラムを動かす土台となるシステムの基本を学びます。	<p>【共通科目(基礎レベル)6科目】 数学a(STM105)、数学b(STM106)、統計学a(STM110)、統計学b(STM111)、セキュリティ論(STM120)、AIと社会(STM121)</p> <p>【ソフトウェアユニット11科目(8単位以上を目安に履修)】 Unix演習a(SXW201)、Unix演習b(SXW202)、ゲームデザインa(SXW203)、ゲームデザインb(SXW204)、 計算機基礎理論(SXW205)、コンピュータシステム論(SXW206)、システム開発技術論(SXW207)、 インターネット論(SXW301)、インターネット演習(SXW302)、応用プログラミング(SXW303)、データ構造とアルゴリズム(SXW304)</p> <p>【Society5.0ユニット12科目(8単位以上を目安に履修)】 情報デザイン論a(SFZ201)、情報デザイン論b(SFZ202)、マルチメディア論(SFZ203)、地理情報基礎演習(SFZ204)、 画像情報処理(SFZ205)、企業活動と情報システム(SFZ206)、数値情報処理a(SFZ301)、数値情報処理b(SFZ302)、 情報システムa(SFZ303)、情報システムb(SFZ304)、情報システムc(SFZ305)、情報システム論d(SFZ306)</p> <p>【データサイエンスユニット2科目】 データベース論(DSE301)、データベース演習(DSE302)</p>	31科目 (31単位)
メディア 情報コース ②	ビッグデータを 分析して課題の 解決に取り組み たい人	大量のデータを安全に処理するために必要な統計処理技術と分析方法を実践的に学びます。	<p>【共通科目(基礎レベル)7科目】 数学a(STM105)、数学b(STM106)、統計学a(STM110)、統計学b(STM111)、デジタル社会論(STM119)、 セキュリティ論(STM120)、AIと社会(STM121)</p> <p>【データサイエンスユニット10科目(8単位以上を目安に履修)】 データサイエンス入門a(DSE201)、データサイエンス入門b(DSE202)、データ分析手法a(DSE203)、データ分析手法b(DSE204)、 情報数学a(DSE205)、情報数学b(DSE206)、データベース論(DSE301)、データベース演習(DSE302)、 統計モデリングa(DSE303)、統計モデリングb(DSE304)</p> <p>【ソフトウェアユニット11科目(8単位以上を目安に履修)】 Unix演習a(SXW201)、Unix演習b(SXW202)、ゲームデザインa(SXW203)、ゲームデザインb(SXW204)、 計算機基礎理論(SXW205)、コンピュータシステム論(SXW206)、システム開発技術論(SXW207)、 インターネット論(SXW301)、インターネット演習(SXW302)、応用プログラミング(SXW303)、データ構造とアルゴリズム(SXW304)</p> <p>【AI・機械学習ユニット4科目】 応用数学a(AML201)、応用数学b(AML202)、応用数学c(AML301)、応用数学d(AML302)</p> <p>【Society5.0ユニット1科目】 企業活動と情報システム(SFZ206)</p>	33科目 (33単位)
メディア 情報コース ③	Society5.0の 社会で活躍 したい人	サイバーフィジカル技術と多様な専門技術を融合したイノベーションにより、経済発展と社会的課題の解決を両立し、より暮らしやすい社会を実現するための方法を実践的に学びます。	<p>【共通科目(基礎レベル)8科目】 経済学(STM102)、数学a(STM105)、数学b(STM106)、統計学a(STM110)、統計学b(STM111)、デジタル社会論(STM119)、 セキュリティ論(STM120)、AIと社会(STM121)</p> <p>【共通科目(中級レベル)2科目】 ミクロ経済学(SSC202)、マクロ経済学(SSC203)</p> <p>【Society5.0ユニット12科目(8単位以上を目安に履修)】 情報デザイン論a(SFZ201)、情報デザイン論b(SFZ202)、マルチメディア論(SFZ203)、地理情報基礎演習(SFZ204)、 画像情報処理(SFZ205)、企業活動と情報システム(SFZ206)、数値情報処理a(SFZ301)、数値情報処理b(SFZ302)、 情報システムa(SFZ303)、情報システムb(SFZ304)、情報システムc(SFZ305)、情報システム論d(SFZ306)</p> <p>【データサイエンスユニット4科目】 データサイエンス入門a(DSE201)、データサイエンス入門b(DSE202)、データベース論(DSE301)、データベース演習(DSE302)</p> <p>【ソフトウェアユニット7科目】 Unix演習a(SXW201)、Unix演習b(SXW202)、計算機基礎理論(SXW205)、コンピュータシステム論(SXW206)、 システム開発技術論(SXW207)、応用プログラミング(SXW303)、データ構造とアルゴリズム(SXW304)</p>	33科目 (33単位)